



**Cisco Unified IP Phone 6921、6941、6961 ユーザガイド for Cisco
Unified Communications Manager 7.1 (SCCP)
Cisco Unified IP Phone 6921, 6941, 6961 User Guide for Cisco
Unified Communications Manager 7.1 (SCCP)**

Text Part Number: OL-21543-01

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

CCDE, CCENT, CCSI, Cisco Eos, Cisco HealthPresence, Cisco IronPort, the Cisco logo, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco Nurse Connect, Cisco StackPower, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco Unified Computing System, Cisco WebEx, DCE, Flip Channels, Flip for Good, Flip Mino, Flip Video, Flip Video (Design), Flipshare (Design), Flip Ultra, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, Cisco Store, and Flip Gift Card are service marks; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0907R)



目次

電話機	1
Cisco Unified IP Phone 6921	1
電話機の接続	1
ボタンとハードウェア	3
電話スクリーン	5
フットスタンド	6
高い表示角度	7
低い表示角度	7
ハンドセット受け台	8
Cisco Unified IP Phone 6941	9
電話機の接続	10
ボタンとハードウェア	11
電話スクリーン	14
フットスタンド	14
高い表示角度	15
低い表示角度	16
ハンドセット受け台	17
Cisco Unified IP Phone 6961	18
電話機の接続	19
ボタンとハードウェア	20
電話スクリーン	23
フットスタンド	23
高い表示角度	24
低い表示角度	25
ハンドセット受け台	26
アプリケーション	29
電話アプリケーション	29

電話履歴	29
電話履歴の表示	30
コールレコードの詳細の表示	30
電話履歴のフィルタ	30
電話履歴からのダイヤル	31
電話履歴の電話番号の編集	31
電話履歴のクリア	32
電話履歴からのコールレコードの削除	32
設定	32
呼出音	33
回線の呼出音の変更	33
コントラスト	33
コントラストの調整	33
サービス	34
サービスへのアクセス	34
電話の情報	34
電話の情報の表示	35
管理者設定	35
連絡先	37
電話連絡先	37
社内ディレクトリ	37
連絡先の検索と連絡先へのダイヤル	38
コール中の連絡先の検索と連絡先へのダイヤル	38
パーソナルディレクトリ	39
パーソナルディレクトリ オプション	39
パーソナルディレクトリのログインおよびログアウト	40
パーソナルディレクトリへのエントリの追加	40
パーソナルディレクトリのエントリの検索	40
パーソナルディレクトリからの番号のダイヤル	41
パーソナルディレクトリ エントリの削除	41
パーソナルディレクトリ エントリの編集	42
ファストダイヤルコードとパーソナルディレクトリ	42

ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリ エントリへの割り当て	42
ファストダイヤルコードを使用したコールの発信	43
ファストダイヤルコードの削除	43
メッセージ	45
ボイスメッセージ	45
ボイスメールの個人設定	45
ボイスメッセージの確認	45
ボイスメッセージの聞き取り	46
コール機能	47
機能ボタンとソフトキー	48
自動応答	49
ヘッドセットで自動応答	49
スピーカフォンで自動応答	49
コールバック	50
コールバック通知の設定	50
全てのコールの転送	50
プライマリ回線でのコール転送	51
コールパーク	51
パークを使用したコールのパークおよび取得	52
処理されたダイレクト コールパークを使用したコールのパークおよび取得	52
手動ダイレクト コールパークを使用したコールのパークおよび取得	53
コール ピックアップ	53
ピックアップを使用したコールの応答	54
グループ ピックアップとグループ ピックアップ番号を使用したコールの応答	54
グループ ピックアップと電話番号を使用したコールの応答	55
その他のピックアップを使用したコールの応答	55
コール待機	55
コール待機通知への応答	55
コード	56
クライアント マター コードを使用したコールの発信	56
Forced Authorization Code を使用したコールの発信	56

会議	56
別の通話相手を自分のコールに追加して会議を作成する	57
回線をまたいでコールを結合して会議を作成する	57
会議の完了前にコール間で切り替える	57
会議参加者の表示	58
会議参加者の削除	58
転送	58
コールの転送	58
サイレント	58
サイレントのオンおよびオフ	59
Extension Mobility	59
Extension Mobility の有効化	59
ファストダイヤル	60
[ファストダイヤル] ボタンを使用したコールの発信	60
保留	60
コールの保留および復帰	60
複数の回線で保留中のコールとアクティブ コールを切り替える	61
別回線で新しいコールに応答してコールを保留中にする	61
共有回線の保留中の確認	61
保留復帰	61
保留復帰の通知への応答	61
ハントグループ	62
ハントグループへのログインとハントグループからのログアウト	62
インターコム	62
インターコム コール発信	62
インターコム コール受信	63
回線ステータス	63
回線ステータス インジケータ	63
迷惑呼 ID	64
不審なコールのトレース	64
ミーティング	64
ミーティング会議の開催	64

ミーティングへの参加	65
モバイル コネクト	65
デスクの電話機からすべてのリモート接続先へのモバイル コネクトをオンまたはオフする	65
進行中のコールをデスクの電話機から携帯電話に切り替える	66
進行中のコールを携帯電話からデスクの電話機に切り替える	66
ミュート	66
電話機のミュート	66
オンフック ダイヤル	67
オンフックでの電話番号のダイヤル	67
プライバシー	67
共有回線でのプライバシーの有効化	67
Quality Reporting Tool (品質レポート ツール)	68
電話機の問題のレポート	68
リダイヤル	68
番号のリダイヤル	68
共有回線	68
短縮ダイヤル	69
短縮ダイヤル ボタンを使用したコールの発信	69
短縮ダイヤル コードを使用したコールの発信	70
転送	70
新しい番号へのコールの転送	70
直接転送を使用して回線をまたいでコールを接続する	70
転送完了前のコールの切り替え	71
WebDialer	71
WebDialer と Cisco ディレクトリの使用	71
WebDialer と他のオンライン社内ディレクトリの使用	72
WebDialer の初期設定、表示、または変更	72
WebDialer のログアウト	73
ユーザ オプション	75
[ユーザ オプション] Web ページ	75

[ユーザ オプション] Web ページへのログインと[ユーザ オプション] Web ページからのログアウト	76
デバイス	76
[ユーザ オプション] Web ページでのデバイスの選択	77
サイレント オプションのカスタマイズ	77
回線の設定	78
回線ごとにコール転送を設定する	78
回線ごとにボイス メッセージインジケータの設定を変更する	79
回線ごとにオーディオ ボイス メッセージインジケータの設定を変更する	79
回線ごと呼出音設定を変更する	80
電話機のディスプレイの回線テキスト ラベルの変更または作成	80
Web での短縮ダイヤル	81
短縮ダイヤル ボタンの設定	81
短縮ダイヤル コードの設定	81
電話機サービス	81
サービスへの登録	82
サービスの検索	82
サービスの変更または解除	83
サービス名の変更	83
電話機のプログラマブル ボタンへのサービスの追加	83
ユーザ設定	84
ブラウザのパスワードの変更	84
PIN の変更	84
[ユーザ オプション] Web ページの言語の変更	85
電話機のディスプレイの言語の変更	85
ディレクトリ	85
個人アドレス帳	86
新規 PAB エントリの追加	86
PAB エントリの検索	86
PAB エントリの編集	86
PAB エントリの削除	87
個人アドレス帳の機能ボタンへの割り当て	87

ファストダイヤル	87
回線ボタンのファストダイヤルへの割り当て	88
ファストダイヤルコードのPABエントリへの割り当て	88
PABエントリを使用しないファストダイヤルコードの電話番号への割り当て	89
ファストダイヤルエントリの検索	89
ファストダイヤル電話番号の編集	89
PABエントリの削除	90
モビリティ設定	90
新規リモート接続先の追加	90
アクセスリストの作成	92
プラグイン	92
プラグインへのアクセス	93
クイックリファレンス	95
ソフトキー	95
電話スクリーンアイコン	97
ボタン	98
よくある質問	99
よくある質問	99
トラブルシューティング	101
トラブルシューティングのヒント	101
会議	101
パーソナルディレクトリ	102
共有回線	102
ユーザオプション	102
製品の安全性、セキュリティ、アクセシビリティ、および関連情報	103
安全性とパフォーマンス情報	103
停電	103
外部デバイス	103
シスコ製品のセキュリティ	104
アクセシビリティ機能	104
聴覚障がい者向けアクセシビリティ機能	104
視覚障がい者向けアクセシビリティ機能	108

運動障がい者向けアクセシビリティ機能 111

追加情報 114

保証 115

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定 115



第 1 章

電話機

- [Cisco Unified IP Phone 6921](#), 1 ページ
- [Cisco Unified IP Phone 6941](#), 9 ページ
- [Cisco Unified IP Phone 6961](#), 18 ページ

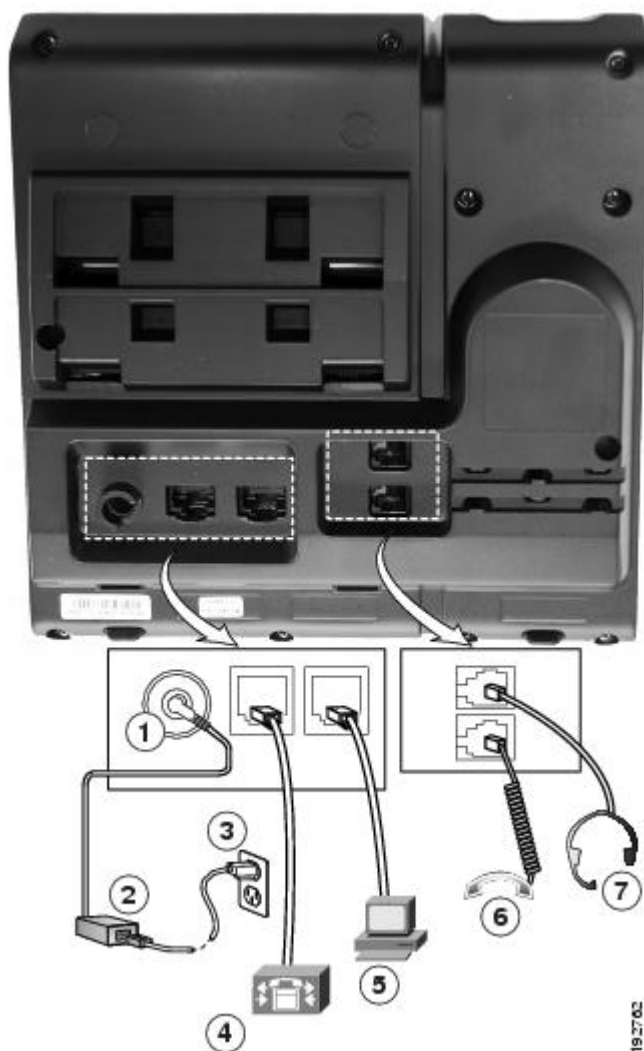
Cisco Unified IP Phone 6921

Cisco Unified IP Phone 6921 には次の機能があります。

- 電話機の接続
- ボタンとハードウェア
- 電話スクリーン
- フットスタンド
- ハンドセット受け台

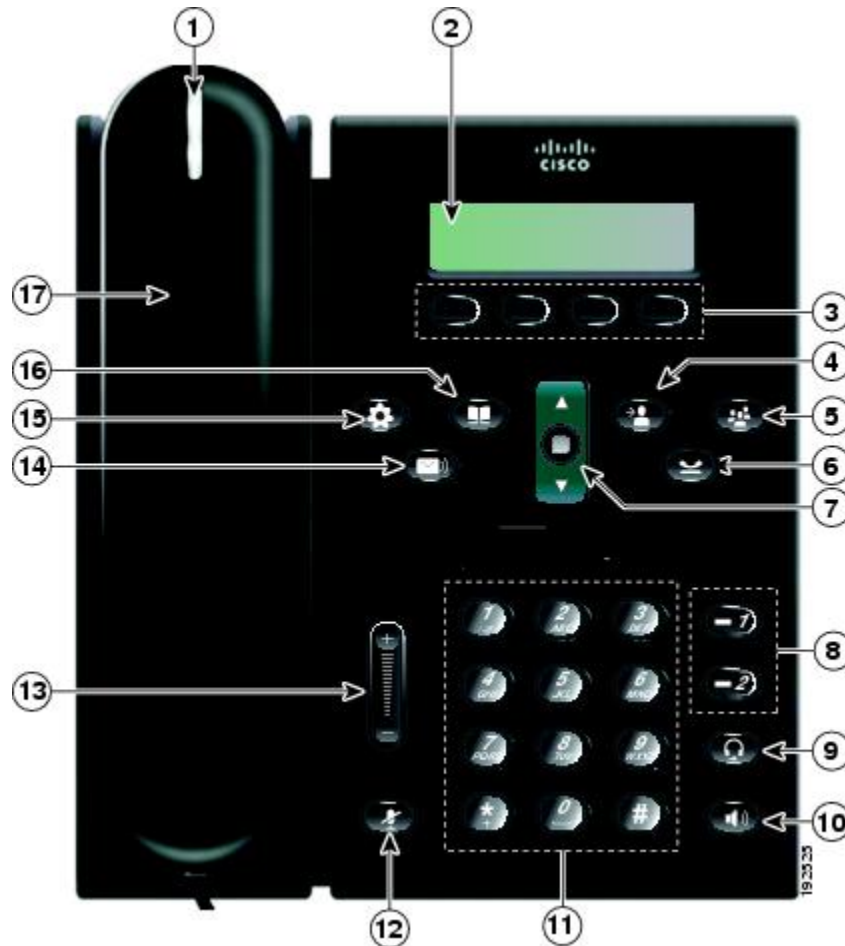
電話機の接続



電話機を使用するには、企業の IP テレフォニー ネットワークへ接続する必要があります。電話機の接続方法については、システム管理者にお問い合わせください。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100 PC) の接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	ヘッドセットの接続
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	アナログヘッドセットの接続 (オプション)
4	ネットワーク ポート (10/100 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源が有効)		

ボタンとハードウェア

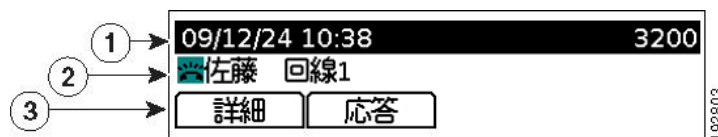


1	ハンドセットのライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（緑色に点灯）を示します。
2	電話スクリーン	電話番号、アクティブコールと回線ステータス、ソフトキーオプション、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューリストなどの電話機に関する情報を表示します。
3	ソフトキー ボタン 	システム管理者が行った電話機の設定に応じて、有効なソフトキー オプションが電話スクリーンに表示されます。
4	転送ボタン 	コールを転送します。

5	会議ボタン 	会議コールを開始します。
6	保留ボタン 	アクティブ コールを保留にします。
7	ナビゲーションバーと選択ボタン 	ナビゲーションバーでは、メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したりできます。電話がオンフックになっている場合に、発信履歴リスト（上向き矢印）または短縮ダイヤル（下向き矢印）の電話番号を表示します。 ナビゲーションバーの中央にある選択ボタンでは、強調表示された項目を選択できます。
8	回線 1 回線 2 ボタン  	回線 1 はプライマリ電話回線を選択します。 システム管理者が行った電話機の設定に応じて、回線 2 は次のいずれかにアクセスします。 <ul style="list-style-type: none"> • セカンダリ電話回線 • 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤル ボタン） • Web ベースのサービス（[個人アドレス帳] ボタンなど） 表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯：アクティブなコール • 緑色に点滅：保留中のコール • オレンジ色に点滅：着信コールまたは復帰コール • 赤色に点灯：リモート回線の使用中（共有回線） • 赤色に点滅：リモート回線の保留中
9	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセット モードのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。

10	スピーカフォン ボタン 	スピーカフォンモードのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。
11	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、メニュー項目の選択（項目番号を入力して）を行います。
12	ミュート ボタン 	マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。
13	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を制御します。
14	メッセージ ボタン 	ボイスメールシステムを自動ダイヤルします（システムによって異なります）。
15	アプリケーション ボタン 	[アプリケーション]メニューを開閉します。このボタンを使用して、電話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。
16	連絡先ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。このボタンを使用して、パーソナルディレクトリと社内ディレクトリにアクセスします。
17	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

電話スクリーン



1	ヘッダー	日付、時刻、およびディレクトリ番号を表示します。
2	回線の詳細とその他の電話の情報	コール中はアクティブな回線の詳細を表示します。それ以外の場合は、テキストラベルと発信履歴、短縮ダイヤル、電話メニューリストなどの情報を表示します。
3	ソフトキーのラベル	利用可能な機能や操作のソフトキーを表示します。

フットスタンド

電話機をテーブルまたは机の上に置いている場合は、フットスタンドを電話機の背面に取り付けて、好みの高さに表示角度を設定できます。



1	表示角度を高くするフットスタンドスロット。	2	表示角度を低くするフットスタンドスロット。
---	-----------------------	---	-----------------------

高い表示角度

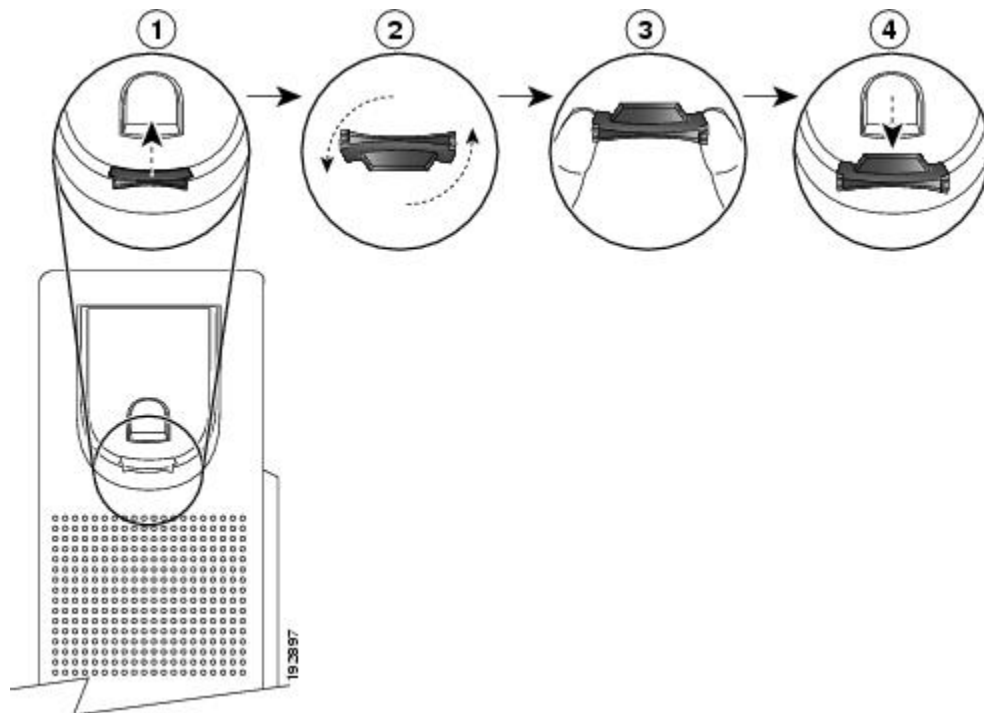


低い表示角度



ハンドセット受け台

システム管理者が電話機を壁に取り付ける場合があります。電話機が壁に取り付けられている場合は、受話器が受け台から滑り落ちないようにハンドセットの受け台を調整する必要があります。



1	受け台からハンドセットをはずし、ハンドセット受け台からプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを180度回します。
3	コーナーのノッチを手前に向けて2本の指でタブを持ち、タブをハンドセット受け台のスロットに合わせます。
4	タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

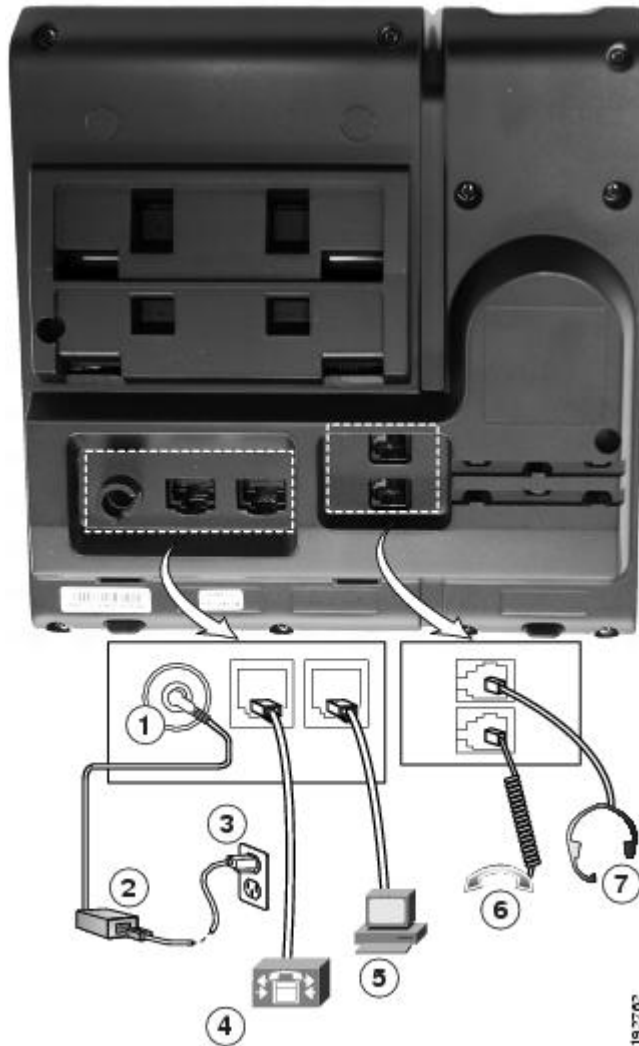
Cisco Unified IP Phone 6941

Cisco Unified IP Phone 6941 には次の機能があります。

- 電話機の接続
- ボタンとハードウェア
- 電話スクリーン
- フットスタンド
- ハンドセット受け台

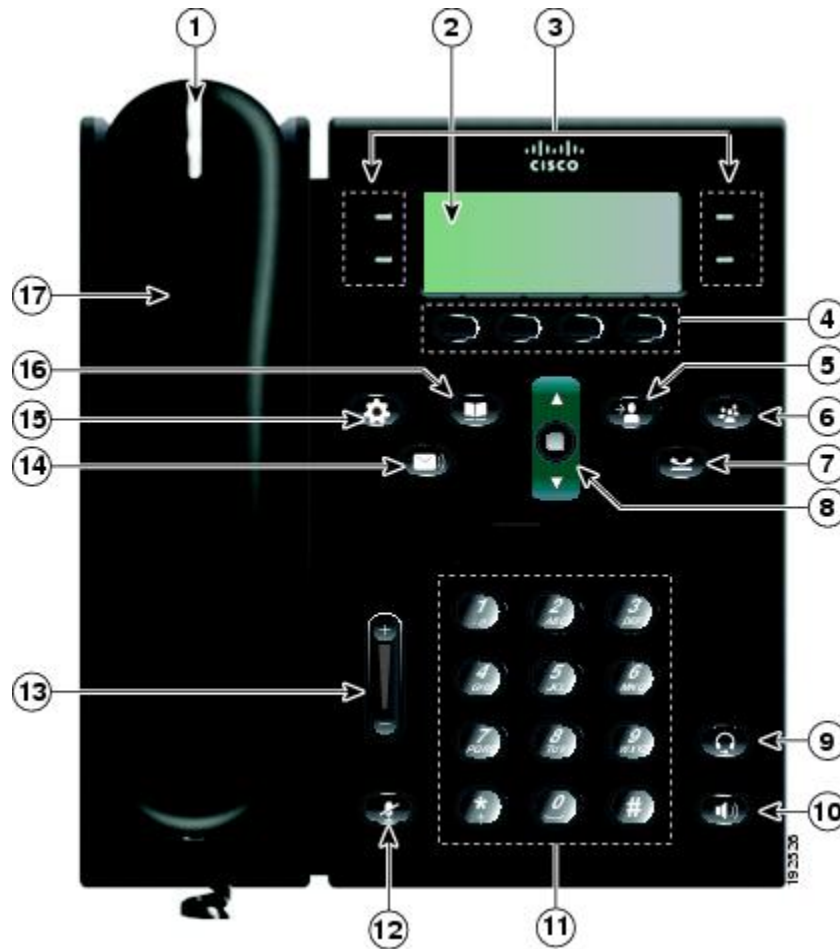
電話機の接続


電話機を使用するには、企業の IP テレフォニー ネットワークへ接続する必要があります。電話機の接続方法については、システム管理者にお問い合わせください。





1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセスポート (10/100 PC) の接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	ハンドセットの接続
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	アナログヘッドセットの接続 (オプション)
4	ネットワークポート (10/100 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源が有効)		

ボタンとハードウェア



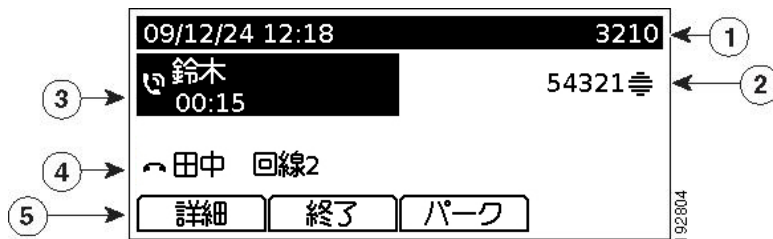
1	ハンドセットのライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（緑色に点灯）を示します。
2	電話スクリーン	電話番号、アクティブコールと回線ステータス、ソフトキーオプション、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューリストなどの電話機に関する情報を表示します。
3	プログラマブル機能ボタン 	システム管理者が行った電話機の設定に応じ、電話スクリーンの両側にあるプログラマブル機能ボタンを使用して、次の機能にアクセスできます。 <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線およびインターコム回線 • 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤルボタン、回線ステータス短縮ダイヤル機能を含む）

		<ul style="list-style-type: none"> • Web ベースのサービス ([個人アドレス帳] ボタンなど) • コール機能 ([プライバシー] ボタンなど) <p>表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯：アクティブ コールまたは双方向インターコム コール • 緑色に点滅：保留中のコール • オレンジ色に点灯：プライバシーの使用、一方向インターコム コール、サイレント オン、またはハン トグループにログイン中 • オレンジ色に点滅：着信コールまたは復帰コール • 赤色に点灯：リモート回線の使用中 (共有回線または回線ステータス) • 赤色に点滅：リモート回線の保留中
4	ソフトキー ボタン 	システム管理者が行った電話機の設定に応じて、有効なソフトキー オプションが電話スクリーンに表示されま す。
5	転送ボタン 	コールを転送します。
6	会議ボタン 	会議コールを開始します。
7	保留ボタン 	アクティブ コールを保留にします。

8	ナビゲーションバーと選択ボタン 	ナビゲーションバーでは、メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したりできます。電話がオンフックになっている場合に、発信履歴リスト（上向き矢印）または短縮ダイヤル（下向き矢印）の電話番号を表示します。ナビゲーションバーの中央にある選択ボタンでは、強調表示された項目を選択できます。
9	ヘッドセットボタン 	ヘッドセットモードのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。
10	スピーカフォンボタン 	スピーカフォンモードのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。
11	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、メニュー項目の選択（項目番号を入力して）を行います。
12	ミュートボタン 	マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。
13	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を制御します。
14	メッセージボタン 	ボイスメールシステムを自動ダイヤルします（システムによって異なります）。
15	アプリケーションボタン 	[アプリケーション]メニューを開閉します。このボタンを使用して、電話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。
16	連絡先ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。このボタンを使用して、パーソナルディレクトリと社内ディレクトリにアクセスします。

17	ハンドセット	電話機のハンドセットです。
----	--------	---------------

電話スクリーン



1	ヘッダー	日付、時刻、およびディレクトリ番号を表示します。
2	アイコン付きの回線テキストラベル	設定に応じて電話回線またはインターコム回線のテキストラベル、短縮ダイヤル番号、またはサービスを表示します。
3	プライマリ回線の詳細とその他の電話の情報	プライマリ回線の回線ラベルやコールの詳細と発信履歴、短縮ダイヤル、電話メニューリストなどの情報を表示します。
4	セカンダリ回線の詳細とその他の電話の情報	セカンダリ回線の回線ラベルやコールの詳細と発信履歴、短縮ダイヤル、電話メニューリストなどの情報を表示します。
5	ソフトキーのラベル	利用可能な機能や操作のソフトキーを表示します。

フットスタンド

電話機をテーブルまたは机の上に置いている場合は、フットスタンドを電話機の背面に取り付けて、好みの高さに表示角度を設定できます。



1	表示角度を高くするフットスタンドスロット。	2	表示角度を低くするフットスタンドスロット。
----------	-----------------------	----------	-----------------------

高い表示角度

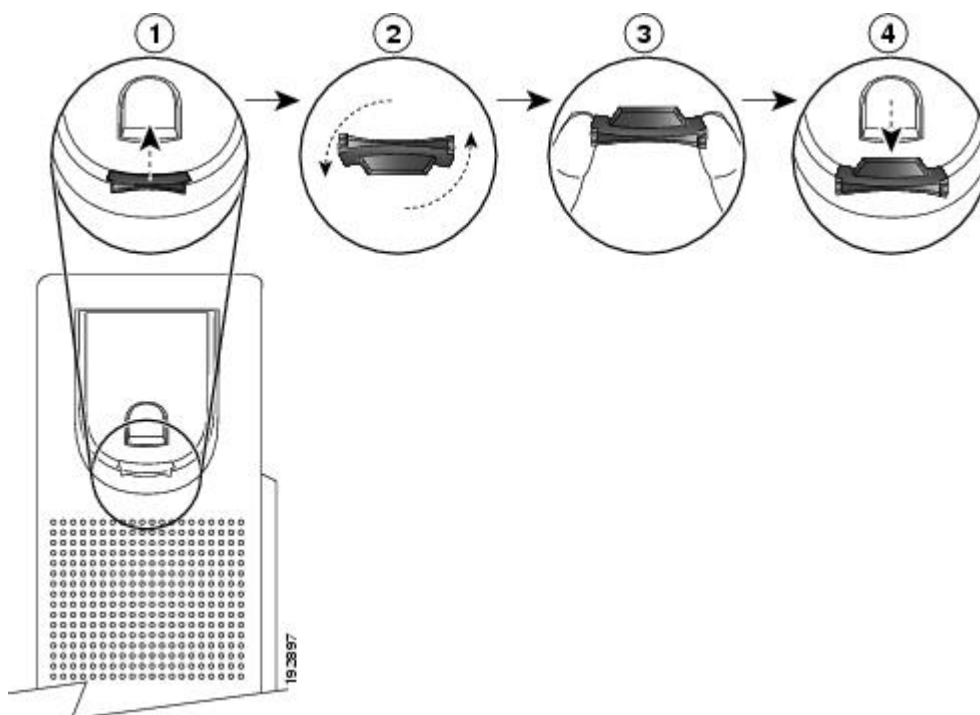


低い表示角度



ハンドセット受け台

システム管理者が電話機を壁に取り付ける場合があります。電話機が壁に取り付けられている場合は、受話器が受け台から滑り落ちないようにハンドセットの受け台を調整する必要があります。



1	受け台からハンドセットをはずし、ハンドセット受け台からプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	コーナーのノッチを手前に向けて 2 本の指でタブを持ち、タブをハンドセット受け台のスロットに合わせます。
4	タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

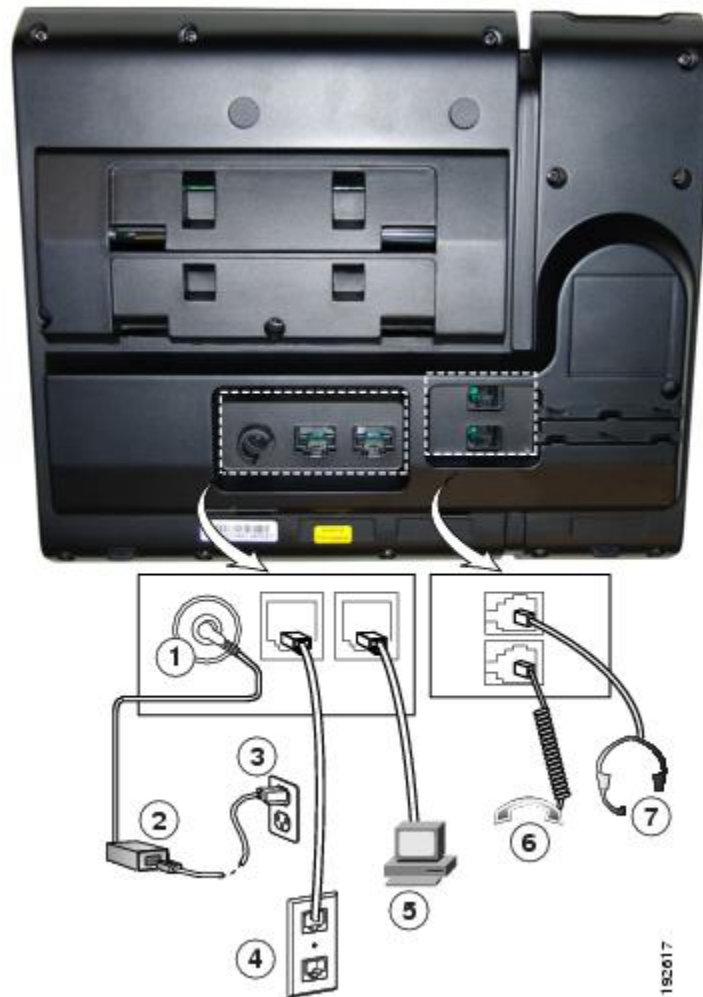
Cisco Unified IP Phone 6961

Cisco Unified IP Phone 6961 には次の機能があります。

- 電話機の接続
- ボタンとハードウェア
- 電話スクリーン
- フットスタンド
- ハンドセット受け台

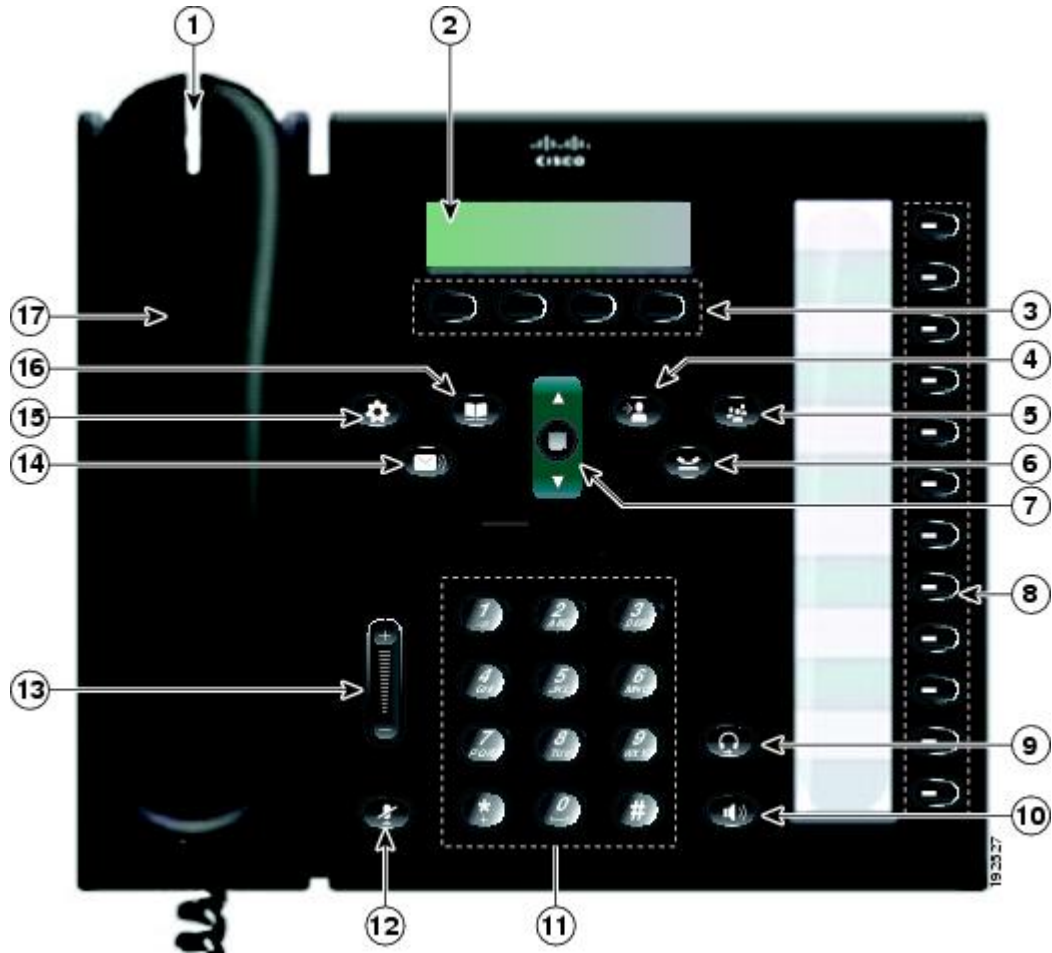
電話機の接続


電話機を使用するには、企業の IP テレフォニー ネットワークへ接続する必要があります。電話機の接続方法については、システム管理者にお問い合わせください。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100 PC) の接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	ハンドセットの接続
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	ヘッドセットの接続 (オプション)
4	ネットワーク ポート (10/100 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源が有効)		

ボタンとハードウェア

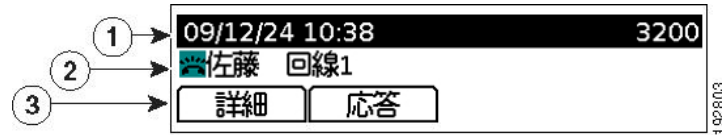


1	ハンドセットのライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（緑色に点灯）を示します。
2	電話スクリーン	電話番号、アクティブコールと回線ステータス、ソフトキーオプション、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューリストなどの電話機に関する情報を表示します。
3	ソフトキー ボタン 	システム管理者が行った電話機の設定に応じて、有効なソフトキー オプションが電話スクリーンに表示されます。

4	転送ボタン 	コールを転送します。
5	会議ボタン 	会議コールを開始します。
6	保留ボタン 	アクティブ コールを保留にします。
7	ナビゲーションバーと選択ボタン 	ナビゲーションバーでは、メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したりできます。電話がオンフックになっている場合に、発信履歴リスト（上向き矢印）または短縮ダイヤル（下向き矢印）の電話番号を表示します。 選択ボタンでは、強調表示された項目を選択できます。
8	プログラマブル機能ボタン 	システム管理者が行った電話機の設定に応じて、プログラマブル機能ボタンは次のいずれかにアクセスします。 <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線およびインターコム回線 • 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤル ボタン、回線ステータス短縮ダイヤル機能を含む） • Web ベースのサービス（[個人アドレス帳] ボタンなど） • コール機能（[プライバシー] ボタンなど） 表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯：アクティブ コールまたは双方向インターコム コール • 緑色に点滅：保留中のコール • オレンジ色に点灯：プライバシーの使用、一方向インターコム コール、サイレントオン、またはハントグループにログイン中 • オレンジ色に点滅：着信コールまたは復帰コール

		<ul style="list-style-type: none"> 赤色に点灯：リモート回線の使用中（共有回線または回線ステータス） 赤色に点滅：リモート回線の保留中
9	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセット モードのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。
10	スピーカフォン ボタン 	スピーカフォン モードのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。
11	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、メニュー項目の選択（項目番号を入力して）を行います。
12	ミュート ボタン 	マイクロフォン モードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。
13	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を制御します。
14	メッセージ ボタン 	ボイスメールシステムを自動ダイヤルします（システムによって異なります）。
15	アプリケーション ボタン 	[アプリケーション] メニューを開閉します。このボタンを使用して、電話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。
16	連絡先ボタン 	[ディレクトリ] メニューを開閉します。このボタンを使用して、パーソナルディレクトリと社内ディレクトリにアクセスします。
17	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

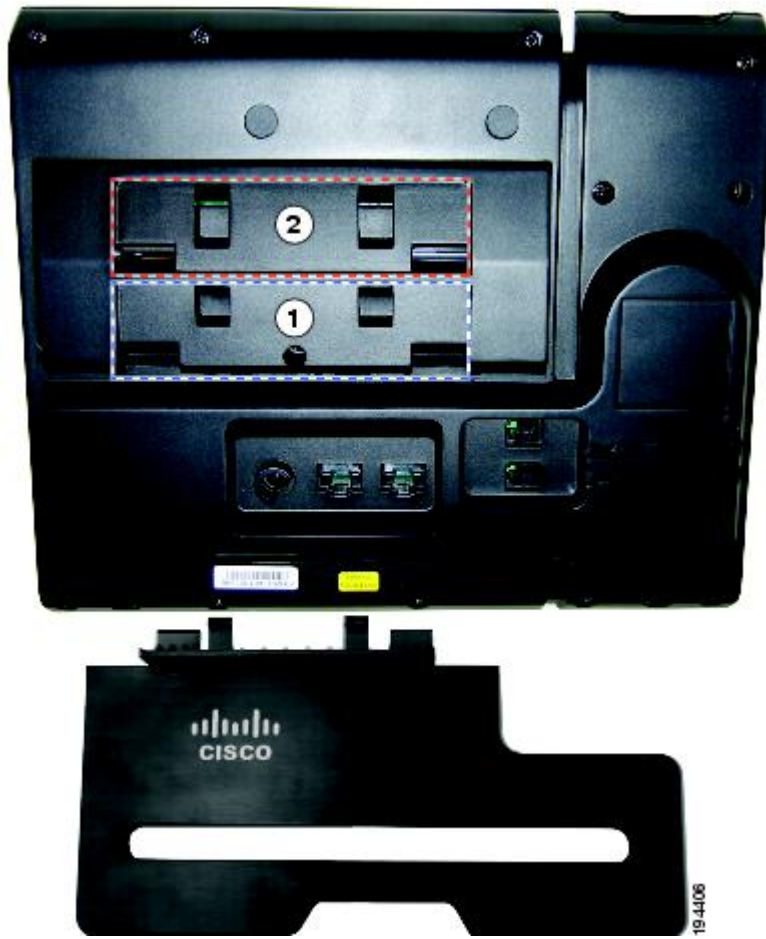
電話スクリーン



1	ヘッダー	日付、時刻、およびディレクトリ番号を表示します。
2	回線の詳細とその他の電話の情報	コール中はアクティブな回線の詳細を表示します。それ以外の場合は、テキストラベルと発信履歴、短縮ダイヤル、電話メニューリストなどの情報を表示します。
3	ソフトキーのラベル	利用可能な機能や操作のソフトキーを表示します。

フットスタンド

電話機をテーブルまたは机の上に置いている場合は、フットスタンドを電話機の背面に取り付けて、好みの高さに表示角度を設定できます。



1 表示角度を高くするフットスタンドスロット。	2 表示角度を低くするフットスタンドスロット。
-------------------------	-------------------------

高い表示角度

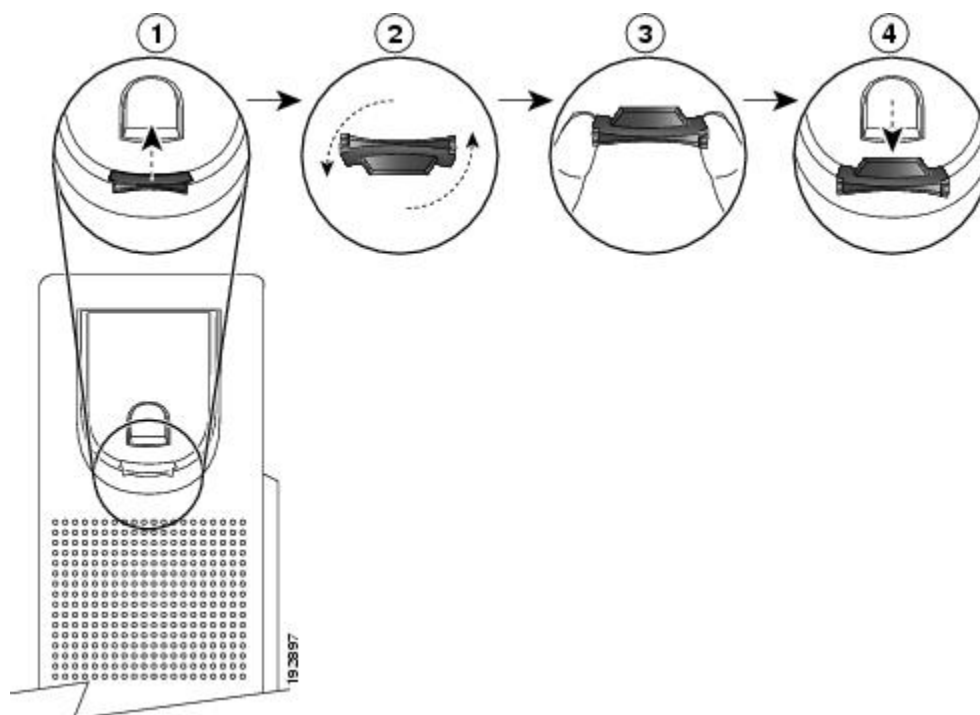


低い表示角度



ハンドセット受け台

システム管理者が電話機を壁に取り付ける場合があります。電話機が壁に取り付けられている場合は、受話器が受け台から滑り落ちないようにハンドセットの受け台を調整する必要があります。



1	受け台からハンドセットをはずし、ハンドセット受け台からプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを180度回します。
3	コーナーのノッチを手前に向けて2本の指でタブを持ち、タブをハンドセット受け台のスロットに合わせます。
4	タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。



第 2 章

アプリケーション

- [電話アプリケーション, 29 ページ](#)

電話アプリケーション

電話アプリケーションを使用すると、次のいずれかにアクセスできます。

- 電話履歴
- 設定
- サービス
- 電話の情報
- 管理者設定 (システム管理者専用)

電話履歴

電話履歴 電話機の最近の 150 コールに関する情報を表示できます。コールのタイプを示す、次のようなコールアイコンが表示されます。



- 着信
- 発信
- 不在

コールアイコンと発信者 ID が表示されます。発信者 ID が使用できない場合は電話番号が表示され、電話番号が使用できない場合は「不明」と表示されます。すべての電話履歴項目は1つのリストに統合され、日時の新しいものから順番に表示されます。(電話回線ごとではなく) 電話機ごとに 150 コールまでの制限があります。たとえば、電話機に複数の回線がある場合は、すべての回線を合わせて 150 コールまでに制限されます。

電話履歴リストは、すべての回線、回線ごと、または不在履歴を対象にソートできます。また、電話履歴リストから直接電話番号をダイヤルできます。



電話履歴の表示

手順

-
- ステップ 1 アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [電話履歴] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
 - ステップ 3 [すべての回線] または表示する回線を選択します。
 - ステップ 4  ソフトキーを押して [電話履歴] 画面に戻ります。
-


コール レコードの詳細の表示


手順

-
- ステップ 1 アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [電話履歴] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
 - ステップ 3 [すべての回線] または表示する回線を選択します。
 - ステップ 4 コールレコードを選択して [詳細] ソフトキーを押します (必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します)。
 - ステップ 5  ソフトキーを押して電話履歴リストに戻ります。
-

電話履歴のフィルタ


手順

-
- ステップ 1 アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [電話履歴] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
 - ステップ 3 [すべての回線] または表示する回線を選択します。
 - ステップ 4 [不在] ソフトキーを押します。
電話履歴リストに、選択した回線の不在履歴だけが表示されます。

- ステップ5 電話履歴リストにすべてのコールを表示するには、[すべてのコール] ソフトキーを押します。
- ステップ6  ソフトキーを押して [電話履歴] 画面に戻ります。




電話履歴からのダイヤル

手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 [電話履歴] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ3 [すべての回線] または表示する回線を選択します。
- ステップ4 電話履歴リストでダイヤルするコールを強調表示し、次のいずれかを実行します。
- [コール] ソフトキーを押します。
 - 回線キーを押します。
 - ハンドセットを取り上げます。
 - スピーカフォン ボタンまたはヘッドセット ボタンを押します。


電話履歴の電話番号の編集

手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 [電話履歴] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ3 [すべての回線] または表示する回線を選択します。
- ステップ4 編集するコールを選択します。
- ステップ5 [編集] ソフトキーを押します (必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します)。
- ステップ6 カーソルを右に移動するには [>>] ソフトキーを押し、カーソルを左に移動するには [<<] ソフトキーを押します。
- ステップ7 電話番号を削除するには、 ソフトキーを押します。
- ステップ8 編集した電話番号にダイヤルするには、[ダイヤル] ソフトキーを押します。
- ステップ9  ソフトキーを押して電話履歴リストに戻ります。


電話履歴のクリア

手順

-
- ステップ 1 アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [電話履歴] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
 - ステップ 3 [すべての回線] または表示する回線を選択します。
 - ステップ 4 [クリア] ソフトキーを押します (必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します)。
 - ステップ 5 [削除] ソフトキーを押して電話履歴リストを削除するか、[キャンセル] ソフトキーを押して [電話履歴] 画面に戻ります。
-

電話履歴からのコールレコードの削除

手順

-
- ステップ 1 アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [電話履歴] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
 - ステップ 3 [すべての回線] または表示する回線を選択します。
 - ステップ 4 削除するコールを選択します。
 - ステップ 5 [コール削除] ソフトキーを押します (必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します)。
 - ステップ 6 [削除] ソフトキーを押してコールを削除するか、[キャンセル] ソフトキーを押して [電話履歴] 画面に戻ります。
-

設定

設定を使用すると、次のユーザ設定を設定できます。



- 呼出音
- コントラスト

呼出音

着信コールや新しいボイスメッセージを電話機で示す方法をカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量も調整できます。

回線の呼出音の変更

手順


- ステップ 1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ 2 [設定] を選択します (ナビゲーション バーと ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ 3 [呼出音] を選択します。
- ステップ 4 呼出音を選択します。
- ステップ 5 サンプルを再生するには、[再生] ソフトキーを押します。
- ステップ 6 呼出音を選択するには、[設定] ソフトキーを押します。
- ステップ 7 [適用] ソフトキーを押して選択を確認するか、[キャンセル] ソフトキーを押して [呼出音] 画面に戻ります。
- ステップ 8  ソフトキーを押して [設定] 画面に戻ります。

コントラスト

電話スクリーンのコントラスト レベルを調整できます。コントラスト レベルのデフォルト設定は 50% です。

コントラストの調整

手順


- ステップ 1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ 2 [設定] を選択します (ナビゲーション バーと ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ 3 [コントラスト] を選択します。
- ステップ 4 コントラストを上げるには、ナビゲーションバーの上向き矢印を押します。コントラストを下げるには、下向き矢印を押します。
- ステップ 5 [保存] ソフトキーを押してコントラスト レベルを設定するか、[キャンセル] ソフトキーを押して終了します。

サービス

電話機サービスには、特別な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話機で使用できるサービスは、電話機のシステム設定や登録したサービスによって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

サービスへのアクセス

手順

-
- ステップ 1 アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [サービス] を選択します（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
 - ステップ 3 アクセスするサービスを選択します。
 - ステップ 4 [選択] ソフトキーを押すか、[終了] ソフトキーを押して [アプリケーション] 画面に戻ります。
-


電話の情報

電話の情報では、次のような電話機のモデル情報を表示できます。

- モデル番号
- IP アドレス
- MAC アドレス
- アクティブ ロード
- 非アクティブ ロード
- 前回のアップグレード
- アクティブ サーバ
- スタンバイ サーバ
- バックライトのオンの時間
- バックライトのオン期間
- バックライトアイドルタイムアウト

電話の情報の表示

手順

-
- ステップ 1 アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [電話の情報] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
 - ステップ 3 [終了] ソフトキーを押して [アプリケーション] 画面に戻ります。
-

管理者設定

管理者設定のアクセスおよび変更方法については、システム管理者にお問い合わせください。



第 3 章

連絡先

- [電話連絡先, 37 ページ](#)

電話連絡先

Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 では、次のディレクトリを使用して、社内および個人の連絡先にアクセスできます。

- 社内ディレクトリ
- パーソナル ディレクトリ

社内ディレクトリ




社内ディレクトリには、電話機からアクセスできる社内の連絡先が含まれています。システム管理者はこのディレクトリを設定および保守します。

社内ディレクトリからは、次の 2 つの方法でダイヤルできます。

- 別のコールに応答していない場合
- 別のコールに応答している場合


連絡先の検索と連絡先へのダイヤル

手順

- ステップ 1 連絡先ボタン  を押します。
- ステップ 2 [社内ディレクトリ] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ 3 任意の検索条件を選択して同僚を検索します。
- 名
 - 姓
 - 電話番号
- ステップ 4 検索条件の情報を入力して [送信] ソフトキーを押し、連絡先を選択します。
- ステップ 5 次のオプションを使用して、連絡先にダイヤルします。
- [ダイヤル] ソフトキーを押します。
 - 選択ボタンを押します。
 - 連絡先のラベル番号を押します。
 - 回線ボタンを押します。
 - スピーカフォン ボタン  を押します。
 - ヘッドセット ボタン  を押します。
 - ハンドセットを取り上げます。
-

コール中の連絡先の検索と連絡先へのダイヤル




手順

- ステップ 1 連絡先ボタン  を押します。
- ステップ 2 [社内ディレクトリ] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ 3 任意の検索条件を選択して同僚を検索します。
- 名

- 姓
- 電話番号

ステップ 4 情報を入力して、[検索] ► [ダイヤル] を選択します。

ステップ 5 次のいずれかを選択して、最初のコールを処理します。

- 保留ボタン  : 最初のコールを保留にして、別の番号にダイヤルします。
- 転送ボタン  : 最初の通話相手を別の相手に転送して、現在のコールを終了します。操作を完了するには、ダイヤル後に転送ボタンをもう一度押します。
- 会議ボタン  : 自分を含むすべての通話参加者との会議コールを作成します。操作を完了するには、ダイヤル後に会議ボタンをもう一度押します。
- [終了] ソフトキー : 最初のコールを終了して、別の番号にダイヤルします。

パーソナルディレクトリ

パーソナルディレクトリには、個人の連絡先リストが含まれています。ファストダイヤル用に、ファストダイヤルコードを自分のパーソナルディレクトリ エントリへ割り当てられます。

パーソナルディレクトリを設定および保守するには、次の 2 つの方法があります。

- 電話機 : 電話機を使用して次の操作を実行できます。
 - パーソナルディレクトリ の設定と使用
 - ファストダイヤルコードの割り当てと使用
- ユーザ オプション Web ページ : ユーザ オプション Web ページを使用しても、パーソナルディレクトリを設定および使用できます。

関連トピック

- [\[ユーザ オプション\] Web ページ, 75 ページ](#)

パーソナルディレクトリ オプション


電話機のパーソナルディレクトリ オプションを使用して、次の操作を実行できます。

- ログインおよびログアウト
- エントリの追加
- エントリの検索
- 電話番号のダイヤル

- エントリの削除
- エントリの編集

パーソナルディレクトリのログインおよびログアウト

手順

-
- ステップ 1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [パーソナルディレクトリ] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
 - ステップ 3 自分のユーザ ID と PIN (システム管理者から取得) を入力して、[送信] ソフトキーを押します。
 - ステップ 4 [終了] ソフトキーを 2 回選択して、ログアウトします。
ログアウトしない場合も、自動的にログアウトされます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
-

パーソナルディレクトリへのエントリの追加

手順

-
- ステップ 1 [パーソナルディレクトリ] にログインします。
 - ステップ 2 [新規] ソフトキーを押します (必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します)。
 - ステップ 3 名前情報を入力します。
 - ステップ 4 [電話] ソフトキーを押して電話番号を入力します。
9 や 1 などの必要なアクセスコードも含めます。
 - ステップ 5 [送信] ソフトキーを押して、パーソナルディレクトリにエントリを追加します。
-

パーソナルディレクトリのエントリの検索

手順

-
- ステップ 1 [パーソナルディレクトリ] にログインします。
 - ステップ 2 [個人アドレス帳] を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
 - ステップ 3 次のいずれかのエントリ検索条件を選択します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。

- 名
- 姓

ステップ 4 検索条件の情報を入力して [送信] ソフトキーを押します。
名前が表示されます。

ステップ 5 [選択] ソフトキーを押します。



パーソナルディレクトリからの番号のダイヤル

手順

ステップ 1 [パーソナルディレクトリ] にログインしてエントリを検索します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。

ステップ 2 ダイヤルする番号を選択します。

ステップ 3 次のオプションを使用して、連絡先にダイヤルします。

- [ダイヤル] ソフトキーを押します。
 - 回線ボタンを押します。
 - スピーカフォン ボタン  を押します。
 - ヘッドセット ボタン  を押します。
 - ハンドセットを取り上げます。
-

パーソナルディレクトリ エントリの削除

手順

ステップ 1 [パーソナルディレクトリ] にログインしてエントリを検索します (ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。

ステップ 2 [編集] ソフトキーを押します。

ステップ 3 [削除] ソフトキーを押します (必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します)。

ステップ 4 [OK] ソフトキーを押して削除を確認します。

パーソナルディレクトリ エントリの編集

手順

-
- ステップ 1 [パーソナルディレクトリ]にログインしてエントリを検索します（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
 - ステップ 2 [編集] ソフトキーを押して、名前または電子メールアドレスを変更します。
 - ステップ 3 名前または電子メールアドレスを変更します。
 - ステップ 4 [電話] ソフトキーを押して電話番号を変更します。
 - ステップ 5 [更新] ソフトキーを押します。
-

ファストダイヤルコードとパーソナルディレクトリ

電話機を使用して次の操作を実行できます。

- ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリ エントリへの割り当て
- ファストダイヤルコードを使用したコールの発信
- ファストダイヤルコードの削除

ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリ エントリへの割り当て

手順

-
- ステップ 1 [パーソナルディレクトリ]にログインします（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
 - ステップ 2 名前情報を入力して[送信] ソフトキーを押します。
 - ステップ 3 名前を選択して[ファースト] ソフトキーを押します。
 - ステップ 4 番号を選択して[選択] ソフトキーを押します。
 - ステップ 5 [次へ] ソフトキーを押します。
 - ステップ 6 番号に割り当てるファストダイヤルコードの[割り当て] ソフトキーを押します。
-

ファストダイヤルコードを使用したコールの発信

手順

-
- ステップ 1 [パーソナルディレクトリ]にログインして、ファストダイヤルコードを検索します（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
 - ステップ 2 ダイヤルするファストダイヤルコードを選択します。
 - ステップ 3 [ダイヤル]ソフトキーを押します。
-

ファストダイヤルコードの削除

手順

-
- ステップ 1 [パーソナルディレクトリ]にログインして、ファストダイヤルコードを検索します（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
 - ステップ 2 削除するファストダイヤルコードを選択します。
 - ステップ 3 [削除]ソフトキーを押します。
-



第 4 章

メッセージ

- [ボイス メッセージ, 45 ページ](#)


ボイス メッセージ

ボイス メッセージは、ボイス メール システムに保存されます。電話機で利用するボイス メール システムは、企業が決定します。

次の操作を実行できます。


- ボイス メールを個人設定する
- ボイス メッセージを確認する
- ボイス メッセージを聞き取る

ボイスメールの個人設定

メッセージ ボタン  を押して、ボイス プロンプトに従います。

ボイス メッセージの確認

次のいずれかの方法でボイス メッセージを確認します。

- ハンドセットのビジュアル メッセージ インジケータ ランプを確認します。
[ユーザ オプション] Web ページを使用して、ビジュアル メッセージ インジケータ ランプを設定できます。
- 次のことを確認します。
 - (Cisco Unified IP Phone 6941 限定) メッセージ受信アイコン 。
 - (Cisco Unified IP Phone 6921 および 6961 限定) テキスト メッセージ。

- コールを発信したときに、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンからスタッタ音が聞こえることを確認します。スタッタ音は回線によって異なります。スタッタ音は、受信メッセージがある回線を使用しているときだけ聞こえます。


[ユーザオプション] Web ページを使用して、オーディオメッセージインジケータを設定できます。

関連トピック

- [回線ごとにボイスメッセージインジケータの設定を変更する, 79 ページ](#)
- [回線ごとにオーディオボイスメッセージインジケータの設定を変更する, 79 ページ](#)

ボイスメッセージの聞き取り

ボイスメッセージを聞きとるには、次の2つの方法があります。

- メッセージボタン  を押して、任意の回線に残されたボイスメッセージを聞き取ります。
- 回線ボタンを押してからメッセージボタンを押して、特定の回線のボイスメッセージを聞き取ります。



第 5 章

コール機能

- 機能ボタンとソフトキー, 48 ページ
- 自動応答, 49 ページ
- コールバック, 50 ページ
- 全てのコールの転送, 50 ページ
- コールパーク, 51 ページ
- コールピックアップ, 53 ページ
- コール待機, 55 ページ
- コード, 56 ページ
- 会議, 56 ページ
- 転送, 58 ページ
- サイレント, 58 ページ
- Extension Mobility, 59 ページ
- ファストダイヤル, 60 ページ
- 保留, 60 ページ
- 保留復帰, 61 ページ
- ハントグループ, 62 ページ
- インターコム, 62 ページ
- 回線ステータス, 63 ページ
- 迷惑呼 ID, 64 ページ
- ミートミー, 64 ページ
- モバイルコネクト, 65 ページ

- ミュート, 66 ページ
- オンフックダイヤル, 67 ページ
- プライバシ, 67 ページ
- Quality Reporting Tool (品質レポートツール), 68 ページ
- リダイヤル, 68 ページ
- 共有回線, 68 ページ
- 短縮ダイヤル, 69 ページ
- 転送, 70 ページ
- WebDialer, 71 ページ

機能ボタンとソフトキー

システム管理者が電話機をどのように設定したかによって、このガイドに記載されている機能の一部が使用できない可能性があります。

次の表に、専用機能ボタンで使用できる機能の一部と、プログラマブル機能ボタンまたはソフトキーにシステム管理者が設定する機能の一部を示します。

機能名	専用機能ボタン	プログラマブル機能ボタン	ソフトキー
コールバック		X	X
全てのコールの転送		X	X
コールパーク		X	X
コールパーク回線ステータス		X	
コールピックアップ		X	X
コールピックアップ回線ステータス		X	
会議	X		X
ダイレクトコールパーク		X	
転送			X
サイレント (DND)		X	
グループピックアップ		X	X
保留	X		
ハントグループ		X	


機能名	専用機能ボタン	プログラマブル機能ボタン	ソフトキー
インターコム		X	
Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼 ID)		X	
ミーティング		X	X
モバイルコネクト		X	
ミュート	X		
その他のピックアップ		X	X
プライバシー		X	
Quality Reporting Tool (QRT; 品質レポートツール)		X	
リダイヤル		X	X
短縮ダイヤル		X	X
短縮ダイヤル回線ステータス		X	
転送	X		X

自動応答

自動応答では、呼出音が 1 回鳴った後、電話機が自動的に着信コールに応答します。


システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットで動作するように自動応答を設定します。

ヘッドセットで自動応答

電話機がアイドル状態の場合は、ヘッドセットボタン  を点灯させておきます。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。

ヘッドセットボタンを点灯させておくには、（ヘッドセットボタンではなく）回線ボタンまたはソフトキーを使用してオフフックおよびオンフックにし、コールを発信して終了します。

スピーカフォンで自動応答

ハンドセットをクレードルに置いたまま、ヘッドセットボタン  を消灯させておきます。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。

コールバック

コールバックを使用すると、話し中または対応不可能な通話相手に対応可能になったときに、電話機でオーディオおよびビジュアル通知を受信できます。

コールバック通知の設定

手順

- ステップ 1 ビジー音または呼出音が聞こえている間に、[コールバック] ソフトキーを押します。電話機に確認画面が表示されます。
- ステップ 2 必要に応じて、[終了] キーを押して確認画面を終了します。回線が利用できるになると、電話機に通知されます。
- ステップ 3 必要に応じて、[ダイヤル] ソフトキーを押して再びコールを発信します。

全てのコールの転送

全てのコールの転送を使用すると、電話機のコールを別の番号に転送できます。

プライマリ回線については、電話機に直接、全てのコールの転送を設定できます。その他のすべての回線、つまり、全てのコールの転送にリモートでアクセスする場合は、[ユーザ オプション] Web ページにアクセスしてください。

システム管理者が電話機に設定できるコール転送機能には、次の 2 種類があります。

- 無制限のコール転送（全てのコールの転送）：受信するすべてのコールに適用されます。
- 制限付きのコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）：条件に従って受信する特定のコールに適用されます。[ユーザ オプション] Web ページからしかアクセスできません。

電話機からコールを転送する場合は、次の手順に従います。

- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、次のようなその他のコール転送オプションを設定できます。
 - 転送先番号から自分の電話機へコールが発信された場合に、コールを転送するのではなく、呼び出し音を鳴らす。


- コール転送ループが生じたり、コール転送チェーンで最大リンク数を超えたりしないようにする。

関連トピック

- [回線ごとにコール転送を設定する, 78 ページ](#)

プライマリ回線でのコール転送

手順

-
- ステップ 1 [不在] ソフトキーを押します。
- ステップ 2 転送先の電話番号を入力します（ボイスメール システムの設定によっては、メッセージ ボタン  を押して、すべてのコールをボイスメールに転送できます）。この機能が有効な場合は、画面にビジュアル通知が表示されます。
- ステップ 3 コール転送をキャンセルするには、[不在オフ] を押します。その他の回線でコールを転送する場合は、[ユーザ オプション] Web ページへアクセスします。
-

コールパーク

コールパークを使用すると、電話機で受信したコールをパーク（一時的に保存）し、後でそのコールを他の電話機（同僚のデスクや会議室にある電話機など）から取得できます。

コールをパークするには、次の 2 つの方法があります。

- **パーク**：電話機で応答したアクティブ コールをパークし、Cisco Unified Communications Manager システム内の他の電話機を使用して、そのコールを取得できます。
- **ダイレクト コールパーク**：次の 2 つの方法でアクティブ コールをパークおよび取得できます。
 - **処理されたダイレクト コールパーク**：システム管理者が短縮ダイヤル回線として設定した回線ボタンを押して、アクティブ コールをパークできます。
このタイプのダイレクト コールでは、回線ステータス インジケータを使用して、回線のステータス（使用中、アイドル状態、またはサイレント状態）を監視できます。
 - **手動ダイレクト コールパーク**：システム管理者が設定したダイレクト コール番号にアクティブ コールを転送して、そのアクティブ コールをパークできます。
パーク取得用のプレフィックス番号（システム管理者から取得）をダイヤルしてから、コールパーク用のダイレクト コール番号をダイヤルして、別の電話機でコールを取得します。

管理者は、電話機にダイレクトコールパークまたはパーク機能のいずれかを設定します。両方は設定できません。

関連トピック

- [回線ステータス, 63 ページ](#)

パークを使用したコールのパークおよび取得

手順

-
- ステップ 1** コール中に [パーク] ソフトキーを押します。
コールが保存されるコールパーク番号が電話機に表示されます。
 - ステップ 2** 電話機のスクリーンに表示されたコールのパーク番号を書き留めます。
その番号を使用してコールを取得します。
 - ステップ 3** 切断します。
パークされているコールを取得するまでの時間は制限されています。この時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。
 - ステップ 4** ネットワーク内の他の Cisco Unified IP Phone から、コールのパーク番号を入力してコールを取得します。
-


処理されたダイレクトコールパークを使用したコールのパークおよび取得

手順

-
- ステップ 1** コール中に [ダイレクトコールパーク] ボタンを押して、アイドル状態の回線ステータスインジケータを表示します。
パークされているコールを取得するまでの時間は制限されています。この時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。
 - ステップ 2** 次の手順に従って、ネットワーク内の他の Unified IP Phone からコールを取得します。
 - a) パーク取得用プレフィックスを入力します。
 - b) ダイレクトコールの番号をダイヤルします。
たとえば、パーク取得用プレフィックスが「99」で、ダイレクトコールの番号が「1234」の場合は、991234を入力します。
-

手動ダイレクト コール パークを使用したコールのパークおよび取得

手順

-
- ステップ 1** コール中に転送ボタン  を押します。
- ステップ 2** コールをパークするダイレクト コールの番号を入力します。
- ステップ 3** もう一度転送ボタンを押してコールのパークを終了してから切断します。
パークされているコールを取得するまでの時間は制限されています。この時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。
- ステップ 4** 次の手順に従って、ネットワーク内の他の Cisco Unified IP Phone からコールを取得します。
- パーク取得用プレフィックスを入力します。
 - ダイレクト コールの番号をダイヤルします。
- たとえば、パーク取得用プレフィックスが「99」で、ダイレクト コールの番号が「1234」の場合は、991234 を入力します。
-

コール ピックアップ

コール ピックアップを使用すると、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトして、そのコールに応答できます。

コール ピックアップは、同僚とコール処理タスクを共有している場合に使用できます。

コールをピックアップするには、次の3つの方法があります。

- **ピックアップ**：自分のコール ピックアップ グループ内の別の電話機で鳴っているコールに応答できます。
ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール（呼び出し中の状態が最も長いコール）からピックアップします。
- **グループ ピックアップ**：次の方法で、自分のコール ピックアップ グループ外にある電話機でコールに応答できます。
 - グループ ピックアップ番号（システム管理者から取得）を使用します。
 - 鳴っている電話機の番号をダイヤルします。
- **その他のピックアップ**：自分のコール ピックアップ グループ内、または関連付け先コールピックアップグループ内の別の電話機で鳴っているコールに応答できます。
システム管理者はコール ピックアップ グループを設定し、コール処理のニーズおよび作業環境に基づいてコール ピックアップ ソフトキーを設定します。

システム管理者が短縮ダイヤル ボタンに回線ステータス インジケータを設定した場合は、回線ステータスインジケータを使用して、鳴っているコールを監視およびピックアップできます。回線ステータスインジケータによって、短縮ダイヤル ボタンと関連付けられた回線のステータス（アイドル状態、使用中、サイレント状態、または呼び出し中）を確認できます。

関連トピック

- [回線ステータス, 63 ページ](#)

ピックアップを使用したコールの応答

手順

-
- ステップ 1** [ピック] ソフトキーを押して、自分のピックアップ グループ内で鳴っているコールを自分の電話機に転送します。
回線が複数存在し、ある非プライマリ回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線 ボタンを押してから [ピック] ソフトキーを押します。
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続します。
- ステップ 2** コールが鳴ったら、[応答] ソフトキーを押してコールに接続します。
-

グループ ピックアップとグループ ピックアップ番号を使用したコールの応答

手順

-
- ステップ 1** [G ピック] ソフトキーを押して、自分のピックアップグループ外の電話機でコールに応答します。
回線が複数存在し、別の回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線 ボタンを押してから [G ピック] ソフトキーを押します。
- ステップ 2** グループ ピックアップ番号を入力します。
電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。
- ステップ 3** コールが鳴ったら、[応答] ソフトキーを押してコールに接続します。
-

グループピックアップと電話番号を使用したコールの応答

手順

-
- ステップ 1** [G ピック] ソフトキーを押します。
回線が複数存在し、ある非プライマリ回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタンを押してから [G ピック] ソフトキーを押します。
- ステップ 2** ピックアップしたいコールがある電話回線の番号を入力します。たとえば、コールが回線 12345 で鳴っている場合は、12345 を入力します。
電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。
- ステップ 3** コールが鳴ったら、[応答] ソフトキーを押してコールに接続します。
-

その他のピックアップを使用したコールの応答

手順

-
- ステップ 1** [他 Grp] ソフトキーを押して、自分のピックアップグループ内または関連付けられているグループ内のコールを、自分の電話機に転送します。
電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。
- ステップ 2** コールが鳴ったら、[応答] ソフトキーを押してコールに接続します。
-

コール待機

コール待機を使用すると、他のコールで会話をしている時に新しいコールが自分の電話機で鳴っていることが、次のような合図で通知されます。

- コール待機音（1回のビーブ音）
- オレンジ色に点滅する回線ボタン

コール待機通知への応答

システム管理者が電話機に複数の回線を設定しないと、この機能は使用できません。

鳴っているコールに応答するには、オレンジ色に点滅している回線ボタンを押します。電話機によって元のコールが自動的に保留され、鳴っているコールが接続されます。

コード

コードを使用すると、課金またはトラッキングコードを使用してコールを発信できます。電話機では、次の2種類のコード（管理者から取得）がサポートされます。

- **Client Matter Code (CMC)**（クライアント マター コード）では、コードを入力してコールと特定のクライアント マターとの関連付けを指定する必要があります。管理者は、コール アカウティングおよび課金のために、クライアント マター コードを顧客、学生、またはその他の集団に割り当てられます。
- **Forced Authorization Code (FAC)** を使用すれば、コール アクセスとコール アカウティングを管理できます。Forced Authorization Code 機能では、コールが接続される前に、ユーザが有効な認証コードを入力する必要があります。

クライアント マター コードを使用したコールの発信

手順

ステップ 1 電話番号をダイヤルします。

ステップ 2 音が鳴ったら、クライアント マター コード (CMC) を入力します。

Forced Authorization Code を使用したコールの発信

手順

ステップ 1 電話番号をダイヤルします。

ステップ 2 音が鳴ったら、Forced Authorization Code (FAC) を入力します。

会議

会議を使用すると、複数の通話相手と同時に会話できます。

あるコールで会話をしているとき、会議を使用して別の通話相手にダイヤルし、それらの通話相手をそのコールに追加します。

複数の電話回線がある場合は、交互に会議を使用して、2つの回線をまたいで2つのコールを結合できます。たとえば、回線1に1つのコールがあり、回線2にも1つのコールがある場合、それらのコールを1つの会議に結合できます。


会議の処理を完了する前に、[キャンセル] ソフトキーを押してその処理をキャンセルしたり、[切替] ソフトキーを押して複数のコール間で切り替えたりして、それぞれの通話相手と個別に話せます。

会議ホストとして、会議から個々の参加者を削除できます。

すべての参加者が切断すると会議は終了します。

別の通話相手を自分のコールに追加して会議を作成する


手順

-
- ステップ 1 自分のコールが（保留でなく）アクティブであることを確認します。
 - ステップ 2 会議ボタン  を押します。
 - ステップ 3 追加する通話相手の電話番号を入力します（または短縮ダイヤル ボタンを押します）。
 - ステップ 4 参加者の応答を待ちます（またはコールが鳴っている間にステップ 5 に進みます）。
 - ステップ 5 もう一度会議ボタンを押します。
会議が開始されます。
- 必要に応じてこれらの手順を繰り返し、通話相手をさらに追加します。
-

回線をまたいでコールを結合して会議を作成する

このタスクには複数の電話回線が必要です。

手順

-
- ステップ 1 接続されているコールが2つあり、それらのコールの1つがアクティブである（保留中ではない）ことを確認します。
 - ステップ 2 会議ボタン  を押します。
 - ステップ 3 もう1つの（保留中の）コールの回線ボタンを押します。
会議が開始されます（アクティブ コールがある回線上で会議が確立されます）。
-

会議の完了前にコール間で切り替える

新しい会議参加者にコールした後、その参加者を会議に追加する前に[切替] ソフトキーを押して、2つのコール間で切り替えを行います。これによって、コールを結合して会議を作成する前に、各コールで単独の通話相手または複数の通話相手と個別に打診できます。

会議参加者の表示

会議中に [詳細] ソフトキーを押して、参加者のリストを表示します。

会議参加者の削除

手順

ステップ 1 会議中に [詳細] ソフトキーを押して、参加者のリストを表示します。

ステップ 2 削除する参加者を強調表示してから、[削除] ソフトキーを押します。

転送

転送を使用すると、アクティブなコール、鳴っているコール、または保留中のコールを自分のボイスメール システムや所定の電話番号（システム管理者が設定）に送信できます。

コールの転送

[転送] ソフトキーを押して、アクティブなコール、鳴っているコール、または保留中のコールを自分のボイスメール システムや所定の電話番号（システム管理者が設定）に送信します。

サイレント

サイレント（DND）を使用すると、電話機の呼出音か、呼出音と着信コールを知らせるその他のオーディオまたはビジュアル通知のいずれかを オフにできます。

呼出音と通知をオフにすると、コールは自分のボイスメール システムに直接送信されます。

システム管理者は電話機の回線ボタンにサイレントを設定します。ただし、ユーザは [ユーザ オプション] Web ページから、自分でサイレント オプションを変更できます。

サイレントでは、その他のタイプのコールとやりとりを行います。

- サイレントと全てのコールの転送の両方が有効になっている場合は、ビジュアルまたはオーディオ通知による確認が何も行われずにコールが転送されます。
- サイレントは、インターコム コールにもインターコム以外のプライオリティ コールにも影響しません。
- サイレントと自動応答の両方が有効になっている場合は、インターコム コールだけが自動応答されます。

関連トピック

- [\[ユーザ オプション\] Web ページ, 75 ページ](#)

サイレントのオンおよびオフ

手順



-
- ステップ 1 [サイレント] ボタンを押して、サイレントをオンにします。ビジュアル通知が一時的に表示されます。
 - ステップ 2 サイレントをオフにするには、もう一度ボタンを押します。ビジュアル通知が一時的に表示されます。
-

Extension Mobility

Cisco Extension Mobility (EM) を使用すると、自分用に Cisco Unified IP Phone を一時的に設定できます。EM にログインすると、電話機に自分のユーザ プロファイル（電話回線、機能、設定されているサービス、Web ベースの設定など）が適用されます。EM はシステム管理者が設定します。

Extension Mobility の有効化

手順

-
- ステップ 1 アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [サービス] を選択します（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
 - ステップ 3 [EM Service]（名称が異なる場合もある）を選択します。
 - ステップ 4 ユーザ ID と PIN（システム管理者から取得）を入力します。
 - ステップ 5 プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
 - ステップ 6 ログアウトするには、アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ 7 [サービス] を選択します。
 - ステップ 8 [EM Service]（名称が異なる場合もある）を選択します。
 - ステップ 9 ログアウトするようにプロンプトが表示されたら、[Yes] ソフトキーを押します。
-

ファストダイヤル

ファストダイヤルを使用すると、電話機のファストダイヤルサービスから電話番号をダイヤルできます。電話機のファストダイヤルを使用する前に、[ユーザオプション] Web ページでファストダイヤルを設定する必要があります。

関連トピック

- [ファストダイヤル, 87 ページ](#)

【ファストダイヤル】ボタンを使用したコールの発信

電話機でファストダイヤルを使用する前に、[ユーザオプション] Web ページでファストダイヤルを設定する必要があります。

手順



-
- ステップ 1 [ファストダイヤル] ボタンを押します。
 - ステップ 2 [パーソナルディレクトリ] にログインします。
 - ステップ 3 [個人ファーストダイヤル] を選択します。
 - ステップ 4 ファストダイヤルコードを選択して、[ダイヤル] ソフトキーを押します。
-

保留

保留を使用すると、アクティブコールを保留状態にできます。

コールの保留および復帰

手順

-
- ステップ 1 コールを保留にするには、保留ボタン  を押します。
保留アイコン  が表示され、回線ボタンが緑色に点滅します。
 - ステップ 2 コールを復帰するには、[復帰] ソフトキーまたは緑色に点滅している回線ボタンを押します。
-

複数の回線で保留中のコールとアクティブコールを切り替える

電話機が複数の回線をサポートしている場合、回線ボタンを使用して保留中のコールとアクティブコールを切り替えます。

たとえば、回線1に保留中のコールがあり、回線2にアクティブコールがある場合、回線1のボタンを押して回線1のコールをアクティブに（保留中から復帰）すると、自動的に回線2のコールが保留中になります。

別回線で新しいコールに応答してコールを保留中にする

電話機が複数の回線をサポートし、新しいコールが鳴ったときにすでにコール中であった場合、その新しいコールに応答すると最初のコールは自動的に保留中になります。

この場合、新しいコールに応答するには、オレンジ色に点滅している回線ボタンまたは[応答]ソフトキーを押します。

共有回線の保留中の確認

赤色に点滅している回線ボタンと保留アイコン  を確認します。

これらのインジケータが表示されている場合、共有回線のコールは他のユーザによってリモートで保留にされています。

保留復帰

保留復帰では、コールが保留中になったタイミングが通知されます。

保留復帰の通知には、新規コールの通知同様、次の合図が含まれます。

- 1回の呼出音（一定間隔で繰り返す）
- オレンジ色に点滅する回線ボタン
- ハンドセット上で点滅するメッセージインジケータ
- 電話スクリーン上のビジュアル通知

保留復帰の通知への応答

オレンジ色に点滅している回線ボタンまたは[応答]ソフトキーを押して、コールを保留状態から復帰します。

ハントグループ

ハントグループは、大量の着信コールがある組織のコールの負荷を共有するために使用します。システム管理者はハントグループに一連の電話番号を設定します。ハントグループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

ハントグループのメンバは、ハントグループにログインするとコールを受信できます。また、グループからログアウトすると呼び出し音が鳴らなくなります。

ハントグループへのログインとハントグループからのログアウト

手順

ステップ 1 [ハントグループ] ボタンを押してログインします。
ビジュアル通知が一時的に表示されます。

ステップ 2 もう一度ボタンを押してログアウトします。
ハントグループからログアウトしても、ハントグループ以外のコールは引き続き着信します。

インターコム

インターコムでは、専用インターコム回線を使用して一方向のコールを送受信できます。

インターコムコールを発信すると、受信者の電話はミュートが有効になって（ウィスピー）自動応答し、受信者のスピーカフォンから（ヘッドセットまたはハンドセットを使用中の場合はそのいずれかから）、メッセージをブロードキャストします。

インターコムコールを受信すると、受信者は双方向オーディオを開始して（接続）、コールを継続できます。

インターコム コールの発信

手順

ステップ 1 [インターコム] ボタンを押します。
電話機がインターコムコードを自動ダイヤルする場合は、アラートトーンが聞こえたら話し始めます。それ以外の場合は、ステップ 2 に進みます。

ステップ 2 インターコムコードを入力し、アラートトーンが聞こえたら話し始めます。

インターコム コールの受信

インターコム コールを受信すると、インターコム アラート トーンが聞こえて、電話機がコールに自動応答します。実行中の現在のコールアクティビティは同時に継続されますが、インターコム発信者にこちらの声は聞こえません。

インターコム発信者と会話するには、アクティブな [インターコム] ボタンを押します。





回線ステータス

回線ステータスインジケータによって、短縮ダイヤルボタンに割り当てられた電話回線の状態を確認できます。

電話機の回線ステータス インジケータはシステム管理者が設定します。

回線ステータス インジケータ

回線ステータス インジケータは、回線の状態を示します。

アイコン	インジケータ
	回線は使用中です。
	回線はアイドルの状態です。
	回線はサイレント（DND）状態です。
	回線は呼び出し中（コールピックアップ専用）の状態です。

システム管理者は、回線ステータスインジケータを短縮ダイヤルボタンに設定し、次の機能を持たせて使用できます。

- 短縮ダイヤル：短縮ダイヤルボタンに設定された番号のステータスを監視（またその番号にダイヤル）できます。
- コールパーク：短縮ダイヤルボタンの [処理されたダイレクト コールパーク] 番号の回線ステータスを監視（またその番号にダイヤル）できます。
- コールピックアップ：短縮ダイヤルボタンの回線ステータスを監視（またその番号で鳴っているコールをピックアップ）できます。

システム管理者は、監視している回線でコールが呼び出し中の場合に、電話機がオーディオアラートを鳴らすようにも設定できます。

関連トピック

- [短縮ダイヤル, 69 ページ](#)
- [コールパーク, 51 ページ](#)
- [コールピックアップ, 53 ページ](#)

迷惑呼 ID

迷惑呼 ID (MCID) では、アクティブ コールを不審なコールとして識別し、一連の自動化されたトラッキングおよび通知メッセージを開始できます。

不審なコールのトレース

[迷惑呼の発信者 ID] ボタンを押して、サイレント通知メッセージをシステム管理者に送信します。

サイレント通知メッセージが送信されると、電話機ではビジュアルおよびオーディオ通知の両方を確認できます。

ミーティング

ミーティングを使用すると、スケジュールした時刻に所定の番号へコールして会議を開催したり、会議に参加したりできます。

会議は、ホストが接続すると開始されます。ホストが参加する前に会議にコールすると、参加者にはビジー音が聞こえます。その場合は、もう一度ダイヤルする必要があります。

すべての参加者が切断すると会議は終了します。ホストが切断しても会議は自動的に終了しません。

ミーティング会議の開催

手順

-
- ステップ 1 システム管理者からミーティング電話番号を取得します。
 - ステップ 2 参加者にミーティング電話番号を配布します。
 - ステップ 3 会議を開始する準備ができれば、オフフックにしてダイヤル トーンを受信し、[ミーティング] ソフトキーを押します。
 - ステップ 4 ミーティング電話番号をダイヤルします。
-

ミーティングへの参加

ミーティング番号（会議ホストから取得）をダイヤルします。

ビジー音が聞こえる場合は、ホストがまだ会議に参加していません。その場合は、もう一度発信し直す必要があります。

モバイルコネク

モバイルコネクを設定すると、携帯電話を使用してデスクの電話番号にかかってきたコールを処理できます。

モバイルコネクを設定するには、[ユーザ オプション] Web ページを使用してリモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするアクセスリストを作成します。

モバイルコネクを有効にした場合の動作は次のとおりです。

- デスクの電話機とリモート接続先でコールを同時に受信します。
- デスクの電話機でコールに応答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。
- 1つのリモート接続先でコールに応答すると、それ以外のリモート接続先とデスクの電話機では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。

関連トピック

- [アクセスリストの作成, 92 ページ](#)
- [新規リモート接続先の追加, 90 ページ](#)

デスクの電話機からすべてのリモート接続先へのモバイルコネクをオンまたはオフする

手順

-
- ステップ 1 [モビリティ] ボタンを押して、リモート接続先の現在のステータス（有効または無効）を表示します。
 - ステップ 2 [選択] ボタンを押してステータスを変更します。
 - ステップ 3 [終了] ソフトキーを押します。
-

関連トピック

- [新規リモート接続先の追加, 90 ページ](#)

進行中のコールをデスクの電話機から携帯電話に切り替える

手順

-
- ステップ 1 [モビリティ] ボタンを押します。
 - ステップ 2 [携帯電話へコールを送信] を選択します。
 - ステップ 3 進行中のコールに携帯電話で応答します。
デスクの電話の回線ボタンが赤に変わり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。他のコールには同じ電話回線を使用できません。ただし、デスクの電話機が複数の回線をサポートしている場合は、別の回線を使用してコールを発信および受信できます。
-

進行中のコールを携帯電話からデスクの電話機に切り替える

手順


-
- ステップ 1 デスクの電話機の回線を選択します。
 - ステップ 2 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
 - ステップ 3 5～10秒以内にデスクの電話機の[復帰]ソフトキーを押して、デスクの電話機で会話を開始します。
-

ミュート

ミュートを使用すると、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンのオーディオ入力をブロックできます。コールの通話相手の声は聞こえますが、相手にこちらの声は聞こえません。

電話機のミュート

手順

-
- ステップ 1 ミュート ボタン  を押して、ミュートをオンにします。
 - ステップ 2 ミュートをオフにするには、もう一度ミュート ボタンを押します。
-

オンフック ダイヤル

オンフックダイヤルを使用すると、ダイヤルトーンを受信する前に電話番号を入力し、オフフックにしてコールを接続できます。

オンフックでの電話番号のダイヤル

手順

- ステップ 1 電話番号を入力するか、短縮ダイヤルします。
- ステップ 2 オフフックにします。

プライバシー

プライバシーを使用すると、回線を共有する他のユーザから自分のコール情報を隠すように設定できます。

プライバシーは、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。共有回線が複数存在し、プライバシーが有効になっている場合は、他のユーザはすべての共有回線を表示できません。

回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっていても、共有回線を通常どおり使用して、コールを発信および受信できます。

関連トピック

- 共有回線, [68 ページ](#)

共有回線でのプライバシーの有効化

手順

- ステップ 1 [プライバシー] ボタンを押して機能を有効にします。
この機能が有効な場合は、電話スクリーンにビジュアル通知が表示されます。
- ステップ 2 この機能をオフにするには、もう一度ボタンを押します。

Quality Reporting Tool (品質レポートツール)

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、システム管理者により一時的に、電話機に Quality Reporting Tool (QRT) が設定されることがあります。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。

電話機の問題のレポート

手順

- ステップ 1 [品質レポートツール] ボタンを押します。
- ステップ 2 発生した問題に最も近い項目を選択します (ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- ステップ 3 [選択] ソフトキーを押します。
情報がシステム管理者に送信されます。

リダイヤル

リダイヤルでは、ボタンを押して最後にダイヤルした電話番号をコールできます。

番号のリダイヤル

[リダイヤル] ソフトキーを押します。

特定の電話回線でコールを発信するには、その回線のダイヤルトーンを受信してから [リダイヤル] ソフトキーを押します。

共有回線

共有回線を使用すると、1つの電話番号を複数の電話機で使用できます。

複数の電話機があり電話番号は1つで、同僚とコール処理タスクを共有したり、マネージャの代わりにコールを処理したりする場合は、共有回線にします。

たとえば、同僚と回線を共有すると、次のようになります。

- 共有回線にコールが着信した場合

- 自分の電話機が鳴り、回線ボタンがオレンジ色に点滅する。
- 同僚の電話機が鳴り、回線ボタンがオレンジ色に点滅する。
- コールに応答した場合
 - 自分の回線ボタンが緑色に変わる。
 - 同僚の回線ボタンが赤色に変わる。
ボタンが赤色の場合は、その回線を使用してコールに割り込んだり、他のコールをかけたりできません。
- コールを保留にした場合
 - 自分の回線ボタンが緑色に点滅する。
 - 同僚の回線ボタンが赤色に点滅する。
回線が赤色で点滅している場合は、同僚がそのコールをピックアップできます。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤル機能では、ボタンを1つ押すかコードを1つ入力するだけでコールを発信できます。電話機で短縮ダイヤル機能を使用する前に、[ユーザ オプション] Web ページで短縮ダイヤルを設定する必要があります。

電話機は設定に応じて、次のような短縮ダイヤル機能をサポートできます。


- 短縮ダイヤルボタン：短縮ダイヤル用に設定された1つ以上の回線ボタンから電話番号をすばやくダイヤルできます。
システム管理者が回線ステータス機能を設定している場合は、回線ステータスインジケータを使用して短縮ダイヤル回線のステータスを監視できます。
- 短縮ダイヤルコード：コード（固定短縮ダイヤルとも呼ぶ）から電話番号をダイヤルできます。

関連トピック

- [Web での短縮ダイヤル, 81 ページ](#)
- [回線ステータス インジケータ, 63 ページ](#)

短縮ダイヤル ボタンを使用したコールの発信

電話機で短縮ダイヤル ボタンを使用する前に、[ユーザ オプション] Web ページで短縮ダイヤルを設定する必要があります。

コールを発信するには、短縮ダイヤル ボタン  を押します。

短縮ダイヤルコードを使用したコールの発信

電話機で短縮ダイヤルコードを使用する前に、[ユーザ オプション] Web ページでコードを設定する必要があります。

コールを発信するには、短縮ダイヤルコードを入力して[短縮ダイヤル]ソフトキーを押します。

転送

転送を使用すると、接続したコールを自分の電話機から別の番号へリダイレクトできます。


転送または直接転送が利用可能です。

- 転送では、1つのコールを指定した別の番号にリダイレクトできます。
- 直接転送では、2つのコールを2つの異なる回線へ相互に（自分自身は回線上に留まることなく）接続できます。

転送手続きを完了する前に、[キャンセル]ソフトキーを押して手続きをキャンセルしたり、[切替]ソフトキーを押して複数のコール間で切り替えたりして、それぞれの通話相手と個別に話せます。

新しい番号へのコールの転送


手順

-
- ステップ 1 自分のコールが（保留でなく）アクティブであることを確認します。
 - ステップ 2 転送ボタンを押します。
 - ステップ 3 転送先の電話番号を入力します（または、短縮ダイヤル ボタンを押します）。
 - ステップ 4 相手が応答するのを待ちます（またはコールが鳴っている間にステップ 5 に進みます）。
 - ステップ 5 もう一度転送ボタンを押します。
転送が完了します。
-

直接転送を使用して回線をまたいでコールを接続する

このタスクには、複数の電話回線が必要です。

手順

- ステップ 1 接続されているコールが2つあり、それらのコールの1つがアクティブである（保留中ではない）ことを確認します。
 - ステップ 2 転送ボタンを押します。
 - ステップ 3 もう1つの（保留中の）コールの回線ボタンを押します。
転送が完了します（2つのコールが相互に接続されます）。
-

転送完了前のコールの切り替え

転送先と接続した後でコールをその通話相手に転送する前に、[切替] ソフトキーを押して2つのコールを切り替えられます。これによって、転送を完了する前に、各コールで通話相手と個別に打診できます。

WebDialer

WebDialer では、Cisco Unified CM ディレクトリから連絡先にクリックツーダイヤルできます。この機能はシステム管理者が設定します。

WebDialer と Cisco ディレクトリの使用

手順

- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ▶ [ディレクトリ] を選択して同僚を検索します。
 - ステップ 3 ダイヤルする番号を選択します。
 - ステップ 4 初めて WebDialer を使用する場合は、[発信] ページの設定を確認します。
 - ステップ 5 [ダイヤル] を選択します。
これで電話機からコールが発信されます。
 - ステップ 6 コールを終了するには、[コールの終了] を選択するか、電話機を切断します。
-


WebDialer と他のオンライン社内ディレクトリの使用

手順

-
- ステップ 1 WebDialer 対応の社内ディレクトリにログインして、同僚を検索します。
 - ステップ 2 ダイヤルする番号を選択します。
 - ステップ 3 プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。
 - ステップ 4 初めて WebDialer を使用する場合は、[発信] ページの設定を確認します。
 - ステップ 5 [ダイヤル] を選択します。
これで電話機からコールが発信されます。
 - ステップ 6 コールを終了するには、[コールの終了] を選択するか、電話機を切断します。
-


WebDialer の初期設定、表示、または変更

手順

-
- ステップ 1 WebDialer を使用してコールを開始し、[発信] ページにアクセスします。
[発信] ページは、WebDialer を初めて使用するときに表示されます（ダイヤルする番号を選択した後）。
 - ステップ 2 [発信] ページから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 優先する言語：WebDialer の設定およびプロンプトに使用する言語を指定します。
 - 優先するデバイスを使用する：WebDialer コールを発信するのに使用する Cisco Unified IP Phone（[コールに使用するデバイス]）とディレクトリ番号（[コールに使用する回線]）を識別します。1本の回線を持つ電話機を1台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線、あるいはその両方を選択します。同じタイプの電話機が複数台ある場合は、デバイスタイプと MAC アドレスで指定します（電話機に MAC アドレスを表示するには、アプリケーション ボタン  ▶ [電話の情報] を選択します）。
[エクステンション モビリティ] プロファイルを持っている場合、[発信] ページの [コールに使用するデバイス] ドロップダウンメニューから [エクステンション モビリティ] を選択できます。
 - コールの確認ダイアログを表示しない：これを選択すると、次に WebDialer を使用するとき WebDialer の [発信] ページが表示されなくなります。Cisco ディレクトリから連絡先をクリックすると、コールが自動的にダイヤルされます。

- 自動終了の無効化：これを選択すると、コール ウィンドウが 15 秒後に自動的に閉じられなくなります。
-

WebDialer のログアウト

[発信] ページまたは [コールの終了] ページのログアウト アイコン  を選択します。



第 6 章

ユーザ オプション

- [\[ユーザ オプション\] Web ページ, 75 ページ](#)
- [デバイス, 76 ページ](#)
- [ユーザ設定, 84 ページ](#)
- [ディレクトリ, 85 ページ](#)
- [個人アドレス帳, 86 ページ](#)
- [ファストダイヤル, 87 ページ](#)
- [モビリティ設定, 90 ページ](#)
- [プラグイン, 92 ページ](#)

[ユーザ オプション] Web ページ

Cisco Unified IP Phone は、社内のパーソナルコンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。

コンピュータを使用すると [Cisco Unified CM のユーザ オプション] Web ページにログインできます。そのページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、サービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページから短縮ダイヤル ボタンを設定できます。

[ユーザ オプション] Web ページにログインしたら、ユーザ オプションを選択して、次の項目にアクセスします。

- デバイス
- ユーザ設定
- ディレクトリ
- 個人アドレス帳
- ファストダイヤル

- モビリティ設定
- プラグイン

関連トピック

- [電話連絡先, 37 ページ](#)
- [全てのコールの転送, 50 ページ](#)

[ユーザ オプション] Web ページへのログインと[ユーザ オプション] Web ページからのログアウト

短縮ダイヤル設定や個人アドレス帳などのユーザ オプションを利用できるようにする前に、ログインする必要があります。また、[ユーザ オプション] Web ページの使用が終了したら、ログアウトする必要があります。

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション URL、ユーザ ID、デフォルト パスワードを取得（システム管理者から取得）します。
- ステップ 2** コンピュータで Web ブラウザを開き、その URL を入力します。
- ステップ 3** セキュリティ設定を許可するプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] を選択します。
- ステップ 4** [ユーザ名] フィールドにユーザ ID を入力します。
- ステップ 5** [パスワード] フィールドにパスワードを入力します。
- ステップ 6** [ログイン] を選択します。
[Cisco Unified CM のユーザ オプション] ホーム ページが表示されます。このページから [ユーザ オプション] を選択すると、デバイスを選択してユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、ファストダイヤルにアクセスできます。
- ステップ 7** ユーザ オプションからログアウトするには、[ログアウト] を選択します。
-

デバイス

[ユーザ オプション] Web ページから、電話機のデバイス設定を変更できます。次のデバイス設定は、電話機で変更できます。

- サイレント オプション
- 回線の設定
- 短縮ダイヤル

- IP Phone サービス

関連トピック

- [短縮ダイヤル, 69 ページ](#)

[ユーザ オプション] Web ページでのデバイスの選択

手順

-
- ステップ 1** [ユーザ オプション] Web ページにログインしたら、[ユーザ オプション] ► [デバイス] を選択します。
- [デバイス設定] ページが表示されます。[デバイス設定] ページの最上部に表示されるツールバーボタンは、選択したデバイスの種類によって異なります。
- ステップ 2** 複数のデバイスを割り当てられている場合は、適切なデバイス（電話機のモデル、エクステンション モビリティ プロファイル、またはリモート接続先プロファイル）を [名前] ドロップダウンメニューから選択します。
-

サイレント オプションのカスタマイズ

手順

-
- ステップ 1** [ユーザ オプション] Web ページにログインします。電話機のサイレント（DND）機能はシステム管理者が設定します。
- ステップ 2** ドロップダウンメニューから [ユーザ オプション] ► [デバイス] を選択します。
- ステップ 3** 次のオプションを設定できます。
- サイレント：チェックボックスをオンにして DND を有効にするか、無効にします。
 - DND オプション：[なし] または [呼出音オフ]（呼出音だけをオフにする）のいずれかを選択します。
 - DND 着信呼警告（いずれかの DND オプション セットに適用）：アラートを [ピープ音のみ]、[フラッシュのみ]、[無効] に設定するか、[なし] を選択します（システム管理者が設定したアラートの設定を使用するため）。
-

関連トピック

- [サイレント, 58 ページ](#)

回線の設定

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、コール転送、ビジュアルおよびオーディオメッセージ受信インジケータ、ボイスメッセージインジケータ、呼出音のパターンや、その他の回線固有の設定が含まれます。

電話機で他の回線の設定値を直接設定できます。次の設定が可能です。

- プライマリ電話回線のコール転送の設定
- 呼出音、表示、その他の電話機モデル固有の設定の変更

関連トピック

- [全てのコールの転送, 50 ページ](#)
- [呼出音, 33 ページ](#)

回線ごとにコール転送を設定する

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [デバイス] を選択します。
 - ステップ 3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
 - ステップ 4 [回線の設定] を選択します。
 - ステップ 5 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
 - ステップ 6 [着信コールの転送] 領域で、各種条件のコール転送設定を選択します。
 - ステップ 7 [保存] を選択します。
-

関連トピック

- [全てのコールの転送, 50 ページ](#)

回線ごとにボイス メッセージ インジケータの設定を変更する

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [デバイス] を選択します。
 - ステップ 3 [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。
 - ステップ 4 [回線の設定] を選択します。
 - ステップ 5 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
 - ステップ 6 [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライト ストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。
 - ステップ 7 [保存] を選択します。
-

回線ごとにオーディオ ボイス メッセージ インジケータの設定を変更する

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [デバイス] を選択します。
 - ステップ 3 [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。
 - ステップ 4 [回線の設定] を選択します。
 - ステップ 5 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
 - ステップ 6 [オーディオ メッセージ受信インジケータ] 領域で、さまざまな設定から選択します。
 - ステップ 7 [保存] を選択します。
-

回線ごと呼出音設定を変更する

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
- ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [デバイス] を選択します。
- ステップ 3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
- ステップ 4 [回線の設定] を選択します。
- ステップ 5 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
- ステップ 6 [呼出音設定] 領域で、ドロップダウンメニューから [呼出音設定（電話がアイドルのとき）] と [呼出音設定（電話がアクティブのとき）] のオプションを設定します。オプションは次のとおりです。
- システム デフォルト
 - 無効
 - フラッシュのみ
 - 一度鳴らす
 - 鳴らす
 - ビープ音のみ（このオプションは [呼出音設定（電話がアクティブのとき）] の場合だけ指定可）
- ステップ 7 [保存] をクリックします。
-

電話機のディスプレイの回線テキスト ラベルの変更または作成

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
- ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [デバイス] を選択します。
- ステップ 3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
- ステップ 4 [回線の設定] を選択します。
- ステップ 5 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
- ステップ 6 [回線のテキストラベル] 領域に、テキスト ラベルを入力します。
- ステップ 7 [保存] を選択します。

Web での短縮ダイヤル

電話機の設定に応じて、短縮ダイヤルボタンや短縮ダイヤルコードを使用できます。これらの設定は [ユーザ オプション] Web ページで行えます。

短縮ダイヤル ボタンの設定

手順

- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
- ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [デバイス] を選択します。
- ステップ 3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
- ステップ 4 [短縮ダイヤル] を選択します。
- ステップ 5 [短縮ダイヤル設定] 領域で、電話機の短縮ダイヤル ボタンの番号とラベルを入力します。
- ステップ 6 [保存] を選択します。

短縮ダイヤル コードの設定

手順

- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
- ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [デバイス] を選択します。
- ステップ 3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
- ステップ 4 [短縮ダイヤル] を選択します。
- ステップ 5 [固定短縮ダイヤル設定] 領域で、短縮ダイヤル コードの番号とラベルを入力します。
- ステップ 6 [保存] を選択します。





電話機サービス

電話機サービスには、特別な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話機サービスにアクセスする前に、まず電話機サービスに登録する必要があります。[ユーザ オプション] Web ページから、短縮ダイヤル ボタンへのサービスの登録、検索、または割り当てを実行できます。

電話機で使用できるサービスは、システム管理者が設定した電話機の設定や登録したサービスによって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

設定したサービスが1つだけの場合は、デフォルトでそのサービスが開きます。設定したサービスが複数ある場合は、電話機のディスプレイのメニューからサービスを選択します。

次の機能ボタンのいずれかを使用してサービスを選択します。

-  (システム管理者が設定する機能ボタン)
-  メッセージ
-  アプリケーション
-  連絡先

サービスへの登録

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [デバイス] を選択します。
 - ステップ 3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
 - ステップ 4 [IP Phone サービス] を選択します。
 - ステップ 5 [新規追加] を選択します。
 - ステップ 6 ドロップダウンリストからサービスを選択し、[次へ] をクリックします。
 - ステップ 7 サービスラベルを変更します。また、使用可能な場合は、追加のサービス情報を入力します (オプション)。
 - ステップ 8 [保存] を選択します。
-

サービスの検索

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 デバイスを選択します。
 - ステップ 3 [IP Phone サービス] を選択します。
 - ステップ 4 [検索] を選択します。
-

サービスの変更または解除

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 サービスを検索します。
 - ステップ 3 1 つまたは複数のエントリを選択します。
 - ステップ 4 [選択項目の削除] を選択します。
-

サービス名の変更

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 サービスを検索します。
 - ステップ 3 サービス名を選択します。
 - ステップ 4 情報を変更して [保存] を選択します。
-

電話機のプログラマブル ボタンへのサービスの追加

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ▶ [デバイス] を選択します。
 - ステップ 3 [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。
 - ステップ 4 [サービス URL] を選択します。
電話機のサービス URL ボタンは、システム管理者が設定します。
 - ステップ 5 [ボタン サービス] ドロップダウン リストからサービスを選択します。
 - ステップ 6 サービスの名前を変更する場合は、ラベル フィールドを編集します。
 - ステップ 7 [保存] を選択します。
 - ステップ 8 [リセット] を選択して電話機をリセットします（電話機の新しいボタン ラベルを表示するために必要です）。
-

ユーザ設定

PIN およびパスワードを使用して、さまざまな機能およびサービスにアクセスできます。たとえば PIN は、電話機で Cisco Extension Mobility またはパーソナルディレクトリにログインするために使用します。また、パスワードを使用し、コンピュータで [ユーザ オプション] Web ページや Cisco WebDialer にログインします。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ユーザ設定には、ブラウザのパスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

ブラウザのパスワードの変更

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [ユーザ設定] を選択します。
 - ステップ 3 [現在のパスワード] を入力します。
 - ステップ 4 [新しいパスワード] を入力します。
 - ステップ 5 [パスワードの確認] フィールドに新しいパスワードを再入力します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

PIN の変更

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [ユーザ設定] を選択します。
 - ステップ 3 [現在の PIN] を入力します。
 - ステップ 4 [新しい PIN] を入力します。
 - ステップ 5 [PIN の確認] フィールドに新しい PIN を再入力します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

[ユーザ オプション] Web ページの言語の変更

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ▶ [ユーザ設定] を選択します。
 - ステップ 3 [ユーザロケール] 領域の [ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。
 - ステップ 4 [保存] を選択します。
-

電話機のディスプレイの言語の変更

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ▶ [デバイス] を選択します。
 - ステップ 3 [ユーザロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。
 - ステップ 4 [保存] を選択します。
-

ディレクトリ

社内ディレクトリで同僚のリストを取得するには、[ユーザ オプション]>[ディレクトリ] を選択します。

コンピュータ上でアクセスできるディレクトリ機能は、次のとおりです。

- 個人アドレス帳 (PAB)。電話機からもアクセスできます。
- ファスト ダイヤル。電話機からもアクセスできます。
- Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer

関連トピック

- [パーソナルディレクトリ, 39 ページ](#)
- [社内ディレクトリ, 37 ページ](#)

個人アドレス帳

[ユーザ オプション] Web ページから、個人アドレス帳のエントリを追加、削除または更新できます。

新規 PAB エントリの追加

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [個人アドレス帳] を選択します。
 - ステップ 3 [新規追加] を選択します。
 - ステップ 4 エントリの情報を入力します。
 - ステップ 5 [保存] を選択します。
-

PAB エントリの検索

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [個人アドレス帳] を選択します。
 - ステップ 3 検索情報を指定して [検索] を選択します。
-

PAB エントリの編集

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 PAB エントリを検索します。
 - ステップ 3 ニックネームを選択します。
 - ステップ 4 必要に応じてエントリを編集し、[保存] を選択します。
-

PAB エントリの削除

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 PAB エントリを検索します。
 - ステップ 3 1 つまたは複数のエントリを選択します。
 - ステップ 4 [選択項目の削除] をクリックします。
-

個人アドレス帳の機能ボタンへの割り当て

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ▶ [デバイス] を選択します。
 - ステップ 3 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
 - ステップ 4 [サービス URL] を選択します。
システム管理者はサービスを表示するように電話機を設定します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
 - ステップ 5 [ボタン] ドロップダウンリスト ボックスで [個人アドレス帳] サービスを選択します。
 - ステップ 6 ボタンの電話ラベルを入力します。
 - ステップ 7 [保存] を選択します。
 - ステップ 8 [リセット] を選択してから [リスタート] を選択し、電話の設定を更新します。
これでボタンを押すと PAB コードにアクセスできるようになります。
-

ファストダイヤル

[ユーザ オプション] Web ページから、ファストダイヤル エントリを追加、削除、または更新できます。

最大 500 個のファストダイヤルおよび PAB エントリを作成できます。PAB エントリを使用しなくても、新規のファストダイヤル エントリを作成できます。新規のファストダイヤル エントリは、[ユーザ オプション] Web ページに「raw」とラベル表示され、設定可能なテキスト ラベルは表示されません。

回線ボタンのファストダイヤルへの割り当て

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [デバイス] を選択します。
 - ステップ 3 [サービス URL] (システム管理者から取得) を選択します。
 - ステップ 4 [ボタン] ドロップダウン リスト ボックスで [ファストダイヤル] サービスを選択します。
 - ステップ 5 ボタンの電話ラベルを入力します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
 - ステップ 7 [リセット] を選択してから [リスタート] を選択し、電話の設定を更新します。
-

ファストダイヤルコードの PAB エントリへの割り当て

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [ファストダイヤル] を選択します。
 - ステップ 3 [新規追加] を選択します。
 - ステップ 4 [検索オプション] 領域を使用して、該当する PAB エントリを検索します。
 - ステップ 5 [検索結果] 領域の電話番号をクリックします。
 - ステップ 6 必要に応じて、ファストダイヤルコードを変更します。
 - ステップ 7 [保存] を選択します。
-

PAB エントリを使用しないファストダイヤルコードの電話番号への割り当て

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [ファストダイヤル] を選択します。
 - ステップ 3 [新規追加] を選択します。
 - ステップ 4 必要に応じて、ファストダイヤルコードを変更します。
 - ステップ 5 電話番号を入力します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

ファストダイヤルエントリの検索

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [ファストダイヤル] を選択します。
 - ステップ 3 検索情報を指定して [検索] を選択します。
-

ファストダイヤル電話番号の編集

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [ファストダイヤル] を選択します。
 - ステップ 3 編集するファストダイヤルエントリを検索します。
 - ステップ 4 エントリのコンポーネントをクリックします。
 - ステップ 5 電話番号を変更します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

PAB エントリの削除

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 ファスト ダイアル エントリを検索します。
 - ステップ 3 1つまたは複数のエントリを選択します。
 - ステップ 4 [選択項目の削除] を選択します。
-

モビリティ設定

Cisco Mobile Connect を使用する場合、デスクの電話機と同じ電話番号を使用してコールの発信や受信ができるよう、携帯電話や他の電話機を追加する必要があります。このような電話機をリモート接続先と呼びます。また、アクセスリストを定義して、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可することもできます。

関連トピック

- [モバイルコネクト, 65 ページ](#)

新規リモート接続先の追加

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [モビリティ設定] > [リモート接続先] を選択します。
 - ステップ 3 [新規追加] を選択します。
 - ステップ 4 次の情報を入力します。
 - 名前：携帯電話（または他の電話機）の名前を入力します。

- 接続先番号：携帯電話の番号を入力します。

ステップ 5 ドロップダウン リスト ボックスからリモート接続先プロファイルを選択します。リモート接続先プロファイルには、作成したリモート接続先に適用される設定が指定されます。

ステップ 6 [携帯電話] チェックボックスをオンにします。デスクの電話機から発信されたコールをリモート接続先で受信できるようになります。

ステップ 7 [モバイルコネクットの有効化] チェックボックスをオンにします。デスクの電話機と同時にリモート接続先が呼び出されます。

ステップ 8 [呼び出しスケジュール] 領域で次のいずれかのオプションを選択します（呼び出しスケジュールのドロップダウンリストボックスには、自分が作成したアクセスリストだけが表示されます）。

- 常に：リモート接続先の呼び出しに曜日や時間帯の制限を設けない場合は、このオプションを選択します。
- 次に指定されたとおり：曜日や時間帯で呼び出しスケジュールを設定する場合は、このオプションを選択し、次の項目から選択します。
 - a. リモート接続先の呼び出しを許可する曜日のチェックボックスをオンにします。
 - b. 曜日ごとに [1 日中] を選択するか、ドロップダウン リストから開始時間と終了時間を選択します。
 - c. ドロップダウン リスト ボックスからタイム ゾーンを選択します。

ステップ 9 次のいずれかの呼び出しオプションを選択します。

- [常にこの接続先を呼び出す]
- [発信者が在席の場合にのみこの接続先を呼び出す] でドロップダウンリストボックスから選択
- [発信者が在席の場合にはこの接続先を呼び出さない] でドロップダウンリストボックスから選択

ステップ 10 [保存] を選択します。

アクセスリストの作成

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
- ステップ 2 [ユーザ オプション] ► [モビリティ設定] > [アクセスリスト] を選択します。
- ステップ 3 [新規追加] を選択します。
- ステップ 4 アクセスリストを識別する名前と説明（オプション）を入力します。
- ステップ 5 指定されたコールをアクセスリストで許可するのか、ブロックするのを選択します。
- ステップ 6 [保存] を選択します。
- ステップ 7 [メンバの追加] を選択して電話番号を追加するか、リストにフィルタを適用します。
- ステップ 8 [フィルタマスク] ドロップダウンリストボックスからオプションを選択します。電話番号、制限付きの発信者 ID（使用不可）が表示されたコール、または匿名の発信者 ID（非通知）が表示されたコールをフィルタリングできます。
- ステップ 9 [フィルタマスク] ドロップダウンリストボックスから電話番号を選択する場合、[DN マスク] フィールドに電話番号またはフィルタを入力します。フィルタの定義には、次のワイルドカードが使用できます。
- X（大文字または小文字）：数字 1 字に一致します。たとえば、408555123X は 4085551230 から 4085551239 までのすべての番号に一致します。
 - !：任意の桁の数字に一致します。たとえば、408! は 408 で始まるすべての番号に一致します。
 - #：完全一致する数字 1 字として使用します。
- ステップ 10 アクセスリストにこのメンバを追加するには、[保存] を選択します。
- ステップ 11 アクセスリストを保存するには、[保存] を選択します。
-

プラグイン

[ユーザ オプション] Web ページのプラグインを使用すると、システム管理者が設定したアプリケーションをダウンロードしてそれにアクセスできます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

プラグインへのアクセス

手順

-
- ステップ 1 [ユーザ オプション] Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション] ▶ [プラグイン] を選択します。
プラグインが表示されるのは、システム管理者がプラグインを設定した場合だけです。
-





付録 **A**

クイック リファレンス









- [ソフトキー, 95 ページ](#)
- [電話スクリーンアイコン, 97 ページ](#)
- [ボタン, 98 ページ](#)

ソフトキー

すべてのコール	すべての不在履歴をリストします。
応答	コールに応答します。
適用	呼出音の選択を確認します。
コール	コールを発信します。
コールバック	話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったとき、通知を受信します。
キャンセル	変更内容を適用せずに、操作をキャンセルするか画面を終了します。
クリア	電話履歴から 1 エントリ消去します。
削除	電話履歴から 1 エントリ削除します。
コール削除	電話履歴から 1 コール削除します。
詳細	不在履歴および着信履歴内の複数のコールに関する詳細レコードを開きます。
ダイヤル	選択した番号をダイヤルします。
転送	コールを、ボイスメールや所定の電話番号に送信またはリダイレクトします。
編集	名前または電子メールアドレスを変更します。

編集	番号を変更します。
終了	前の画面に戻ります。
不在/不在オフ	コール転送を設定またはキャンセルします。
G ピック	他のグループまたは別の回線で呼び出し中のコールに応答します。
ログアウト	パーソナルディレクトリからログアウトします。
ミーティング	ミーティング会議コールを開催します。
不在	不在履歴のレコードを開きます。
次へ	その他のソフトキーを表示します。
発信	新しいコールを発信します。
OK	選択を確認します。
他 Grp	関連付けられているグループ内で呼び出し中のコールに応答します。
パーク	コールを保存します。
再生	呼出音を再生します。
ピック	グループ内の別の電話機で呼び出し中のコールに応答します。
リダイヤル	最後にダイヤルした電話番号にリダイヤルします。
削除	会議参加者またはエントリを削除します。
復帰	保留されたコールを復帰します。
保存	選択した設定を保存します。
検索	ディレクトリのリストを検索します。
選択	強調表示されたオプションを選択します。
設定	呼出音を設定します。
送信	ユーザ情報を入力します。
切替	2つの既存のコールを切り替えます。
更新	パーソナルディレクトリのエントリを更新します。
>>	入力した文字の上を移動します。
	前に戻って文字を削除します。
	戻ります。

電話スクリーンアイコン












	オフフック
	オンフック
	接続コール
	着信コール
	不在着信
	着信
	発信
	コールの保留

機能アイコン

(電話機で使用できる場合)

	メッセージ受信
	使用中の共有回線
	短縮ダイヤル回線
	BLF で監視された回線が使用中
	BLF で監視された回線がアイドル状態
	BLF で監視された回線が呼び出し中 (コール ピックアップは BLF だけ)
	BLF で監視された回線はサイレント状態 (DND)
	アイドル状態のインターコム回線
	一方向インターコム コール (ウィスパー モード)
	双方向インターコム コール (接続モード)
	電話機サービスを使う

ボタン

	アプリケーション
	連絡先
	メッセージ
	転送
	保留
	会議
	音量
	スピーカフォン
	ミュート
	ヘッドセット
	ナビゲーションバーと選択ボタン



付録

B

よくある質問

- [よくある質問, 99 ページ](#)

よくある質問

- Q.** 電話スクリーンにドキュメントと同じアイコンが表示されないのはなぜですか。
- A.** 電話スクリーンアイコンの多くは、Cisco Unified IP Phone 6941 だけに適用されます。
- Q.** Cisco Unified IP Phone 6921 では、機能ボタンとして 2 番目の回線を使用できますか。
- A.** はい。2つの電話回線は必要でない場合、システム管理者は 2 番目の回線に機能を設定できます。
- Q.** 保留ボタンを押してコールを保留にした場合、もう一度ボタンを押してもコールが復帰しないのはなぜですか。
- A.** 保留ボタンは、コールを保留する場合にだけ使用します。コールを復帰するには、[復帰] ソフトキーまたは緑色に点滅している回線ボタンを押してください。



付録

C

トラブルシューティング

- [トラブルシューティングのヒント, 101 ページ](#)

トラブルシューティングのヒント

次のトピックに関連するトラブルシューティングのヒントを参照できます。

- 会議
- パーソナル ディレクトリ
- 共有回線
- ユーザ オプション

会議

問題：会議ボタンと【会議】ソフトキーが応答しない

会議コールを設定したが、【会議】ソフトキーが使用できなくなり、会議ボタンが応答しません。

考えられる原因

会議参加者の最大数に達しました。

解決方法

参加者の 1 人に会議から退出してもらるか、参加者を 1 人削除します。

問題：ミーティング会議のビジー音

ミーティング会議にダイヤルした後でビジー音が聞こえます。

考えられる原因

会議のホストがまだ会議に参加していません。

解決方法

もう一度コールバックします。

パーソナルディレクトリ

問題：パーソナルディレクトリにログインできない

パーソナルディレクトリにアクセスできません。パスワードではなく Personal Identification Number (PIN; 個人識別番号) を使用してログインしたことを確認しました。

考えられる原因

PIN をリセットする必要があります。

解決方法

システム管理者にお問い合わせください。

共有回線

問題：リモート回線の保留中に発信者 ID が表示されない

Cisco Unified IP Phone 6921 で共有回線を使用しているが、リモート回線の保留中に発信者 ID が表示されません。

考えられる原因

この動作は仕様どおりです。

解決方法

ありません。

ユーザ オプション

問題：[ユーザ オプション] Web ページにアクセスできない

[ユーザ オプション] Web ページにアクセスできません。

考えられる原因

パスワードをリセットする必要があります。

解決方法

システム管理者にお問い合わせください。



付録

D

製品の安全性、セキュリティ、アクセシビリティ、および関連情報

- [安全性とパフォーマンス情報, 103 ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティ, 104 ページ](#)
- [アクセシビリティ機能, 104 ページ](#)
- [追加情報, 114 ページ](#)

安全性とパフォーマンス情報

停電や他のデバイスが Cisco Unified IP Phone に影響することがあります。

停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている電話機に依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コールサービスダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、利用および緊急コールサービスへのダイヤルを行う必要があります。

外部デバイス

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。

- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。



警告

欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制に関する詳細はこちらで確認できます。

http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html

アクセシビリティ機能

Cisco Unified IP Phones 6921、6941、および6961には、視覚障がい、聴覚障がい、運動障がいを持つユーザのためのアクセシビリティ機能があります。

聴覚障がい者向けアクセシビリティ機能

Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および6961は、聴覚障がい者向けアクセシビリティ機能をサポートします。

写真は Cisco Unified IP Phone 6941 ですが、このセクションで説明するアクセシビリティ機能は Cisco Unified IP Phone 6921 および 6961 でも使用できます。



アクセシビリティ機能	説明	設定要件
1. ビジュアルメッセージ受信インジケータ (ハンドセット)	このビジュアルインジケータは360度すべての角度から確認できます。また、オーディオメッセージ受信インジケータもあります。ユーザは、[ユーザオプション] Web ページにログインして、メッセージインジケータの設定にアクセスして、ハンドセットのボイスメッセージライトや電話機のオーディオボイスメッセージインジケータを変更します。ユーザは設定のオン/オフを切り替えます。	すべての電話機の標準機能です。ユーザとシステム管理者が変更できます。

アクセシビリティ機能	説明	設定要件
2. 電話機能の状態のビジュアル通知	<p>電話機能の状態のビジュアル通知について、次の操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ミュート ボタンおよびスピーカフォン ボタンのオンとオフを切り替えて、電話機の状態を表示できます。 • ミュート ボタンを使用してマイクロフォンのオンとオフと切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。 • スピーカフォン ボタンを使用してスピーカフォンのオンとオフと切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。 	すべての電話機の標準機能です。設定は必要ありません。
3. インラインアンプのサポート (ハンドセット)	<p>Cisco Unified IP Phone のハンドセットは、サードパーティ製のインラインアンプをサポートします。ユーザはアンプをハンドセットとコードに接続し、ハンドセットと IP 電話機の間配置します。Cisco Unified IP Phone は、次のサードパーティ製インラインアンプをサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Clarity HA-40 Inline Amplifier for Corded Phone • Plantronics EHA40 Inline Amplifier 	すべての電話機の標準機能です。設定は必要ありません。
4. 調整可能な音量	<p>ユーザは次の操作を実行して音量を調整できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機のメニューで [アプリケーション] > [設定] を選択します。 • 電話機の呼出音の音量レベルを調節します。ハンドセットがクレードルに置かれていて、ヘッドセット ボタンとスピーカフォン ボタンがオフになっている場合に、音 	すべての電話機の標準機能です。ユーザとシステム管理者が変更できます。

アクセシビリティ機能	説明	設定要件
	<p>量ボタンを押すと音が大きくなります。</p>	
<p>5. Hearing Aid Compatible (HAC) ハンドセット</p>	<p>Cisco Unified IP Phone のハンドセットは、次のアクセシビリティ機能をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Hearing Aid Compatible • 補聴器の磁気結合 • Americans with Disabilities Act (ADA; アメリカ障がい者法) に規定された Federal Communications Commission (FCC; 連邦通信委員会) の音量要件 • セクション 508 音量要件 (業界標準のインラインハンドセットアンプを使用することによって実現される) 	<p>すべての電話機の標準機能です。設定は必要ありません。</p>
<p>6. 音響結合 TTY および TDD のサポート (ハンドセット)</p>	<p>Cisco Unified IP Phone は、次の TTY および TDD 機能をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 業界大手メーカー製の音響結合または直接接続の TTY • 電話回線を介したリアルタイムのテキスト転送 • Hearing Carry Over (HCO) 電話機 および Voice Carry Over (VCO) 電話機 • G.711 で動作する VoIP ネットワーク 	<p>すべての Cisco Unified IP Phone の標準機能です。TTY の設定については、システム管理者にお問い合わせください。</p>
<p>サードパーティ製の聴覚障がい者向けアクセシビリティアプリケーション</p>	<p>Cisco Unified IP Phone は、次の機能をサポートする NexTalk などのサードパーティ製アクセシビリティアプリケーションとのインターフェイスを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ページング • ビジュアル通知 	<p>サードパーティ製アプリケーションについては、システム管理者にお問い合わせください。</p>

アクセシビリティ機能	説明	設定要件
	<ul style="list-style-type: none"> • ビデオリレー、テキストリレー、TTY トラフィックまたはボイスサービスをサポートする単一の番号サービスを提供する機能 <p>NexTalk の詳細については、次の URL を参照してください。 http://www.nextalk.com/products/overview</p>	

視覚障がい者向けアクセシビリティ機能

Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 は、視覚障がい者向けアクセシビリティ機能をサポートします。

写真は Cisco Unified IP Phone 6941 ですが、このセクションで説明するアクセシビリティ機能は Cisco Unified IP Phone 6921 および 6961 でも使用できます。



アクセシビリティ機能	説明	設定要件
1. 着信コールの高コントラストビジュアルおよびオーディオアラート	Cisco Unified IP Phone では、電話機が着信コールを受信するとオーディオアラートが鳴り、ハンドセットにビジュアルアラートが示されます。着信コールの間はハンドセットのライトストリップが点滅し、ボイスメッセージを受信すると点灯したままになります。	すべての電話機の標準機能です。設定が必要です。
2. バックライト LCD スクリーンおよびプログラマブルコントラスト	視力が弱いユーザはコントラストを調整できます。	すべての電話機の標準機能です。設定は必要ありません。
3. 回線ボタンと機能ボタン	ユーザは回線ボタンを使用して、発信、応答、特定回線のコールへの切り替えを実行できます。短縮ダイヤル、回線ステータス、プライバシ、サイレント、サービス URL などの機能を機能ボタンに割り当てられます。	設定が必要です。電話機のプログラマブル機能ボタンはシステム管理者が設定します。

アクセシビリティ機能	説明	設定要件
4. アプリケーション、ボイスメッセージ、連絡先、保留、転送、会議にアクセスする大きなボタン	これらの大きなボタンを使用すると、アプリケーション、ボイスメッセージ、社内およびパーソナルディレクトリ、コール機能に簡単にアクセスできます。	すべての電話機の標準機能です。設定は必要ありません。
5. 電話機能の状態のオーディオ通知	<p>電話機の状態のオーディオ通知について、ユーザは次の操作を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ミュート ボタンおよびスピーカフォン ボタンのオンとオフを切り替えて、電話機の状態を表示できます。 • ミュートボタンを使用してマイクロフォンのオンとオフと切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。 • スピーカフォンボタンを使用してスピーカフォンのオンとオフと切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。 	すべての電話機の標準機能です。設定は必要ありません。
6. 標準の 12 キー レイアウト	Cisco Unified IP Phone のキーパッドは、標準の 12 キーレイアウトになっており、ユーザは既存の電話と同じ使い慣れた位置のキー（キー 5 の突起を含む）を使用できます。	すべての電話機の標準機能です。設定は必要ありません。
サードパーティ製の視覚障がい者向けアクセシビリティアプリケーション	<p>Cisco Unified IP Phones 6921、6941、および 6961 は、Tenacity accessaphone や IPblue Virtual Telephone/Global Office (VTGO) 508-Compliant などのサードパーティ製アクセシビリティアプリケーションとのインターフェイスを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • VTGO 508-Compliant Softphone は、Speech Application Programming Interface (SAPI) を統合する標準のソフトウェアエンドポイントであり、Cisco Unified IP Phone の主要な機能のオーディオ通知 (Text-to-Speech) を提供します。VTGO は、補助的なテクノロジーとの互換性もあります。詳細については、次の URL を参照してください。 http://www.ipblue.com/ 	サードパーティ製アプリケーションについては、システム管理者にお問い合わせください。

アクセシビリティ機能	説明	設定要件
	<ul style="list-style-type: none"> • Tenacity accessphone (AAP) は、Cisco Unified IP Phone の補助的なテクノロジーです。 Telephony Application Programming Interface (TAPI) と Computer Technology Integration (CTI; コンピュータテレフォニーインテグレーション) プラグインを使用して、AAP は、Cisco エンドポイントの機能を監視および制御する機能を拡張します。AAPでは、キーボードと Text-to-Speech を使用してすべての主要な拡張機能を利用でき、着信コールの発信者 ID、電話履歴情報、電話機の状態などをすべて表示できます。Tenacity の詳細については、次の URL を参照してください。 http://www.tenacitycorp.com/products.as 	
調整可能なフットスタンド	ユーザは簡単に水平から 60 度の角度までフットスタンドを調整できるので、電話機のディスプレイを最適な状態に表示し、すべてのボタンとキーを快適に操作できます。	すべての電話機の標準機能です。設定は必要ありません。

運動障がい者向けアクセシビリティ機能

Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 は、運動障がい者向けアクセシビリティ機能をサポートします。

写真は Cisco Unified IP Phone 6941 ですが、このセクションで説明するアクセシビリティ機能は Cisco Unified IP Phone 6921 および 6961 でも使用できます。



アクセシビリティ機能	説明	設定要件
1. 操作が簡単な間隔の広い蛍光ボタン	<p>ユーザは、設定に応じてプログラマブル機能ボタンを使用し、次の機能にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線およびインターコム回線（回線ボタン） • 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤルボタン、短縮ダイヤル回線ステータス機能を含む） • Web ベースのサービス（個人アドレス帳など） • 電話機の機能（プライバシーなど） <p>表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。</p>	すべての電話機の標準機能です。設定は必要ありません。

アクセシビリティ機能	説明	設定要件
	<ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯：アクティブ コールまたは双方向インターコム コール • 緑色に点滅：保留中のコール • オレンジ色に点灯：プライバシーの使用、一方向インターコム コール、サイレント オン、またはハントグループにログイン中 • オレンジ色に点滅：着信コールまたは復帰コール • 赤色に点灯：リモート回線の使用中（共有回線または BLF ステータス） 	
2. アプリケーション、ボイスメッセージ、連絡先、保留、転送、会議にアクセスする大きなボタン	これらの大きなボタンを使用すると、アプリケーション、ボイスメッセージ、社内およびパーソナルディレクトリ、コール機能に簡単にアクセスできます。	すべての電話機の標準機能です。設定は必要ありません。
3. 内蔵スピーカフォン	ユーザはスピーカフォン ボタンのオンとオフを切り替えて、電話機の状態を変更できます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	すべての電話機の標準機能です。設定は必要ありません。
4. 触覚対応ボタンと機能（キー5の突起を含む）	Cisco Unified IP Phone のキーパッドでは触覚に対応したボタンが採用されており、既存の電話と同じ使い慣れた位置のキーを使用し、キー5の突起を基点として簡単に移動できます。新しいキーの位置を覚える必要はありません。	すべての電話機の標準機能です。設定は必要ありません。
自動応答機能に対応した専用のヘッドセットジャック	ユーザは専用のヘッドセットジャックを使用して、スピーカフォンまたはヘッドセットで自動応答機能をサポートできます。着信コールは呼出音が1回または2回鳴ってから自動的に接続されます。	すべての電話機の標準機能です。設定が必要です。
調整可能なフットスタンド	ユーザは簡単に水平から 60 度の角度までフットスタンドを調整できるので、電話機のディスプレイを最適な状態で表示し、	すべての電話機の標準機能です。設定は必要ありません。

アクセシビリティ機能	説明	設定要件
	すべてのボタンとキーを快適に操作できます。	

追加情報

次の URL から最新のマニュアルにアクセスできます。

- Cisco Web サイト :
<http://www.cisco.com/>
- 各国の Cisco Web サイト :
http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml
- Cisco Unified IP Phone クイック スタート ガイド :
http://www.cisco.com/en/US/products/ps10326/products_user_guide_list.html
- ライセンス情報 :
http://www.cisco.com/en/US/products/ps10326/products_licensing_information_listing.html



付録

E

保証

- ・ [シスコ製品（ハードウェア）に関する1年間の限定保証規定, 115 ページ](#)

シスコ製品（ハードウェア）に関する1年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.comの次のURLで提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__.html



索引

A

AAP、参照先 [アクセシビリティ機能](#)

B

BLF、参照先 [回線ステータス](#)

C

Cisco Mobile Connect、参照先 [モバイル コネクト](#)

Cisco Unified IP Phone 6921

スクリーン

位置 [3](#)

ボタンとハードウェア [3](#)

Cisco Unified IP Phone 6921、Cisco Unified IP Phone 6961

スクリーン

説明 [5, 23](#)

Cisco Unified IP Phone 6941

スクリーン

位置 [11](#)

説明 [14](#)

ボタンとハードウェア [11](#)

Cisco Unified IP Phone 6961

スクリーン

位置 [20](#)

接続 [19](#)

フットスタンド [23](#)

ボタンとハードウェア [20](#)

CMC [56](#)

using [56](#)

説明 [56](#)

E

EM [59](#)

説明 [59](#)

有効化 [59](#)

Extension Mobility、参照先 [EM](#)

F

FAC [56](#)

using [56](#)

説明 [56](#)

FAQ [99](#)

Forced Authorization Code、参照先 [FAC](#)

H

HAC、参照先 [アクセシビリティ機能](#)

I

ID 番号、参照先 [PIN](#)

M

MAC アドレス

WebDialer [72](#)

電話の情報 [34](#)

P

PAB [86, 87](#)

機能ボタンへの割り当て [87](#)

検索 [86](#)

PAB (続く)

- 削除 87
- 追加 86
- 編集 86

PIN、変更 84

W

WebDialer

- Cisco ディレクトリ 71
- MAC アドレス 72
- 社内ディレクトリを使用 72
- 初期設定 72
- 初期設定の表示 72
- 初期設定の変更 72
- 説明 71
- ログアウト 73
- ログイン 71

あ

アイコン

- 回線ステータス 63

アクセシビリティ機能 104, 108, 111

- 運動障がい者 111
- 視覚障がい者 108
- 聴覚障がい者 104

アクセス

- サービス 34
- プラグイン 93

アクセス リスト

- 作成 92

アプリケーション

- 管理者設定 35
- サービス 34
- 設定 32
- 電話の情報 34
- 電話履歴 29
- ボタン

- Cisco Unified IP Phone 6921 5
- Cisco Unified IP Phone 6941 13
- Cisco Unified IP Phone 6961 22

アラート 55, 58, 61, 64, 105, 107, 109

オーディオ

- アクセシビリティ 107
- コール待機 55

アラート (続く)

オーディオ (続く)

- サイレント 58
- 保留復帰 61
- 迷惑呼 64

ビジュアル

- アクセシビリティ 105, 109
- コール待機 55
- サイレント 58
- 保留復帰 61
- 迷惑呼 64

安全性とパフォーマンス

- 外部デバイス 103
- 停電 103

い

インターコム

- ウィスパー 62
- コールの受信 63
- コールの発信 62
- 説明 62

う

ウィスパー 62

運動障がい者向けアクセシビリティ機能 111

お

応答

- グループ ピックアップとグループ ピックアップ番号を使用 54
- グループ ピックアップと電話番号を使用 55
- スピーカフォンで自動応答 49
- その他のピックアップを使用 55
- ピックアップを使用 54
- ヘッドセットで自動応答 49

オーディオメッセージインジケータ、参照先 [メッセージインジケータ](#)

オンおよびオフ

- サイレント 59
- ミュート 66
- モバイル コネクト 65

オンフック ダイヤル

説明 [67](#)電話番号のダイヤル [67](#)

音量

ボタン

Cisco Unified IP Phone 6921 [5](#)Cisco Unified IP Phone 6941 [13](#)Cisco Unified IP Phone 6961 [22](#)

か

会議

回線をまたいでコールを結合 [57](#)コール間の切り替え [57](#)参加者の削除 [58](#)参加者の表示 [58](#)終了 [57](#)説明 [56](#)通話者の追加 [57](#)

ボタン

Cisco Unified IP Phone 6921 [4](#)Cisco Unified IP Phone 6941 [12](#)Cisco Unified IP Phone 6961 [21](#)ミーティング [64](#)会議から参加者を削除 [58](#)

解除

電話機サービス [83](#)

回線

設定 [77, 78, 79, 80](#)サイレント [77](#)ボイス メッセージ インジケータ [79](#)呼出音 [80](#)

テキスト ラベル

作成 [80](#)変更 [80](#)

ボタン

Cisco Unified IP Phone 6921 [4](#)回線ステータス [63](#)アイコン [63](#)インジケータ [63](#)説明 [63](#)

回線の設定

コール転送 [78](#)ボイス メッセージ インジケータ [79](#)回線ラベルの変更 [80](#)

外部デバイス

情報 [103](#)

外部デバイス (続く)

注意 [103](#)管理者設定 [35](#)関連マニュアル [114](#)

き

キーパッド

Cisco Unified IP Phone 6921 [5](#)Cisco Unified IP Phone 6941 [13](#)Cisco Unified IP Phone 6961 [22](#)

アクセシビリティ

運動障がい者 [113](#)視覚障がい者 [110](#)機能ボタンとソフトキー [48](#)

共有回線

説明 [68](#)プライバシーの有効化 [67](#)保留 [61](#)

切り替え

会議コール [57](#)コールの転送 [71](#)保留中のコール [61](#)

く

クライアント マター コード、参照先 [CMC](#)

グループ ピックアップ

応答 [54](#)説明 [53](#)番号を使用した応答 [55](#)

け

言語

WebDialer の設定 [72](#)電話機のディスプレイの変更 [85](#)[ユーザ オプション] Web ページの変更 [85](#)

検索

電話機サービス [82](#)ファスト ダイヤル [89](#)

こ

コール機能

EM 59

WebDialer 71

インターコム 62

オンフックダイヤル 67

会議 56

回線ステータス 63

共有回線 68

コード 56

コール待機 55

コールパーク 51

コールバック 50

コールピックアップ 53

サイレント 58

自動応答 49

全てのコールの転送 50

短縮ダイヤル 69

転送 58, 70

ハントグループ 62

ファストダイヤル 60

プライバシー 67

保留 60

保留復帰 61

ミーティング 64

ミュート 66

迷惑呼 64

モバイルコネクト 65

リダイヤル 68

コール待機

説明 55

通知への応答 55

コールの接続、参照先 転送

コールのリダイレクト 58

コールパーク 51, 52, 53, 63

回線ステータスインジケータ 63

説明 51

ダイレクトコールパーク

手動 53

処理済み 52

パーク 52

コールバック

説明 50

通知の設定 50

コールピックアップ 53, 54, 55, 63

回線ステータスインジケータ 63

グループピックアップ電話番号 55

コールピックアップ (続く)

グループピックアップ番号 54

説明 53

その他のピックアップ 55

ピックアップ 54

コールレコード 30, 32

削除 32

詳細の表示 30

個人アドレス帳、参照先 PAB

コントラスト 33

さ

サービス、参照先 電話機サービス

サイレント 58, 59, 77

関連項目 サイレント

オンおよびオフ 59

カスタマイズ 77

説明 58

関連項目 サイレント

削除

PAB エントリ 87

パーソナルディレクトリのファストダイヤルコード 43

パーソナルディレクトリの連絡先 41

ファストダイヤル PAB エントリ 90

作成

会議コール 57

電話回線ラベル 80

モバイルコネクト用アクセスリスト 92

し

視覚障がい者向けアクセシビリティ機能 108

関連項目 アクセシビリティ機能、視覚障がい者

自動応答

スピーカフォンで 49

説明 49

ヘッドセットで 49

社内ディレクトリ 37, 38

コール中の連絡先の検索 38

コール中の連絡先へのダイヤル 38

ダイヤル 38

連絡先の検索 38

連絡先へのダイヤル 38

終了

会議 [57](#)手動ダイレクト コールパーク [53](#)処理されたダイレクト コールパーク [52](#)

す

スクリーン

Cisco Unified IP Phone 6921

位置 [3](#)

Cisco Unified IP Phone 6921、Cisco Unified IP Phone 6961

説明 [5, 23](#)

Cisco Unified IP Phone 6941

位置 [11](#)説明 [14](#)

Cisco Unified IP Phone 6961

位置 [20](#)スタッタ音 [46](#)

スピーカフォン

自動応答 [49](#)

ボタン

Cisco Unified IP Phone 6941 [5, 13](#)Cisco Unified IP Phone 6961 [22](#)全てのコールの転送 [50, 51, 78](#)制限付き [50](#)

設定

すべての回線 [78](#)プライマリ回線 [51](#)説明 [50](#)無制限 [50](#)

せ

製品のセキュリティ [104](#)セキュリティ、製品 [104](#)

接続

Cisco Unified IP Phone 6921、Cisco Unified IP Phone 6941 [1, 10](#)Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)設定 [32, 33, 72, 81](#)WebDialer [72](#)WebDialer の初期設定 [72](#)コントラスト [33](#)短縮ダイヤルコード [81](#)短縮ダイヤルボタン [81](#)呼出音 [33](#)設定、ユーザ オプション [84](#)

そ

その他のピックアップ

応答 [55](#)説明 [53](#)

ソフトキー

Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)Cisco Unified IP Phone 6941 [12](#)Cisco Unified IP Phone 6961 [20](#)機能表 [48](#)

た

ダイヤル

オンフック [67](#)社内ディレクトリの連絡先 [38](#)電話履歴から [31](#)パーソナルディレクトリのファストダイヤルコード [43](#)

ダイレクト コールパーク

手動 [53](#)処理済み [52](#)

短縮ダイヤル

回線ステータス インジケータ [63](#)

コード

コールの発信 [70](#)説明 [69](#)ボタン [69, 81](#)設定 [81](#)説明 [69](#)

短縮ダイヤルコード

設定 [81](#)

短縮ダイヤル ボタン

コールの発信 [69](#)設定 [81](#)

ち

着信履歴 [29](#)

注意

外部デバイス [103](#)聴覚障がい者向けアクセシビリティ機能 [104](#)直接転送 [70](#)

つ

追加

- PAB エントリ [86](#)
- 電話機サービスをボタンに [83](#)
- パーソナルディレクトリの連絡先 [40](#)
- モバイルコネクト用リモート接続先 [90](#)

通知 [50, 55, 61](#)

- 関連項目 [アラート](#)
- コール待機 [55](#)
- コールバック [50](#)
- 保留復帰 [61](#)
- 関連項目 [アラート](#)

通話履歴、参照先 [コールレコード](#)

て

停電 [103](#)ディレクトリ [37, 38, 39, 40, 41, 42, 72, 85](#)

- 社内 [37, 38, 72](#)
 - WebDialer を使用 [72](#)
 - コール中の連絡先の検索 [38](#)
 - コール中の連絡先へのダイヤル [38](#)
 - 連絡先の検索 [38](#)
 - 連絡先へのダイヤル [38](#)
- パーソナル [39, 40, 41, 42](#)
 - ファストダイヤルコード [42](#)
 - 連絡先の検索 [40](#)
 - 連絡先の削除 [41](#)
 - 連絡先の追加 [40](#)
 - 連絡先の編集 [42](#)
 - 連絡先へのダイヤル [41](#)
 - ログインおよびログアウト [40](#)

ユーザ オプション [85](#)デバイスの設定、参照先 [ユーザ オプション](#)転送 [3, 12, 21, 58, 70, 71](#)

- 関連項目 [全てのコールの転送](#)
- 切り替え [71](#)
- コールのリダイレクト [58](#)
- 説明 [58, 70](#)
- 直接転送 [70](#)
- ボタン

- Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
- Cisco Unified IP Phone 6941 [12](#)
- Cisco Unified IP Phone 6961 [21](#)
- 関連項目 [全てのコールの転送](#)

電話機

- ハンドセット受け台 [8, 17, 26](#)

電話機サービス [34, 81, 82, 83](#)

- アクセス [34](#)
- 解除 [83](#)
- 検索 [82](#)
- 登録 [82](#)
- 名前の変更 [83](#)
- 変更 [83](#)
- ボタンへの追加 [83](#)

電話機サービスへの登録 [82](#)電話機の接続 [1, 10](#)

電話機のディスプレイ

- 回線ラベルの作成 [80](#)
- 言語の変更 [85](#)

電話機のフットスタンド [6, 14](#)電話の情報、モデル [34](#)電話履歴 [29, 30, 31, 32](#)

- クリア [32](#)
- コールレコードの削除 [32](#)
- ダイヤル [31](#)
- 電話番号の編集 [31](#)
- 表示 [30](#)
- フィルタ [30](#)

電話履歴のクリア [32](#)電話履歴レコード [32](#)

な

ナビゲーションバー

ボタン

- Cisco Unified IP Phone 6921 [4](#)
- Cisco Unified IP Phone 6941 [13](#)
- Cisco Unified IP Phone 6961 [21](#)

は

パーク、参照先 [コールパーク](#)パーソナルディレクトリ [39, 40, 41, 42](#)

- ファストダイヤルコード [42](#)
- 連絡先の検索 [40](#)
- 連絡先の削除 [41](#)
- 連絡先の追加 [40](#)
- 連絡先の編集 [42](#)
- 連絡先へのダイヤル [41](#)
- ログインおよびログアウト [40](#)

パーソナルディレクトリの連絡先 [42](#)

ハードウェア

Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)

Cisco Unified IP Phone 6941 [11](#)

Cisco Unified IP Phone 6961 [20](#)

保証 [115](#)

パスワード、参照先 [ブラウザのパスワード](#)

発信履歴 [29](#)

ハントグループ

説明 [62](#)

ログインおよびログアウト [62](#)

ハンドセット

Cisco Unified IP Phone 6921

位置 [5](#)

ライトストリップ [3](#)

Cisco Unified IP Phone 6941

位置 [14](#)

ライトストリップ [11](#)

Cisco Unified IP Phone 6961

位置 [22](#)

ライトストリップ [20](#)

ひ

ビジョーランプ機能、参照先 [回線ステータス](#)

ピック、参照先 [コールピックアップ](#)

表示

WebDialer の初期設定 [72](#)

会議参加者 [58](#)

コールレコードの詳細 [30](#)

着信履歴 [29](#)

電話の情報 [34](#)

電話履歴 [30](#)

発信履歴 [29](#)

不在履歴 [29](#)

ふ

ファストダイヤル [43, 60, 87, 88, 89, 90](#)

PAB エントリの削除 [90](#)

機能ボタンへの割り当て [88](#)

検索 [89](#)

コードの PAB エントリへの割り当て [88](#)

コードの割り当て [89](#)

説明 [60](#)

ファストダイヤルコードを使用したコールの発信 [43](#)

ファストダイヤル (続く)

[ファストダイヤル] ボタンを使用したコールの発信 [60](#)
編集 [89](#)

ファストダイヤルコード

パーソナルディレクトリからの削除 [43](#)

パーソナルディレクトリへの割り当て [42](#)

フィルタ

電話履歴 [30](#)

不在履歴 [29](#)

不審なコール

トレース [64](#)

不審なコールのトレース [64](#)

復帰、コール

保留 [61](#)

フットスタンド

Cisco Unified IP Phone 6921、Cisco Unified IP Phone
6941 [6, 14](#)

Cisco Unified IP Phone 6961 [23](#)

プライバシー

共有回線での有効化 [67](#)

説明 [67](#)

ブラウザのパスワード、変更 [84](#)

プラグイン [92, 93](#)

プログラマブル機能

ボタン

Cisco Unified IP Phone 6941 [11](#)

Cisco Unified IP Phone 6961 [21](#)

へ

ヘッドセット

自動応答 [49](#)

ボタン

Cisco Unified IP Phone 6921 [4](#)

Cisco Unified IP Phone 6941 [13](#)

Cisco Unified IP Phone 6961 [22](#)

変更

PIN [84](#)

言語

電話機のディスプレイ [85](#)

[ユーザオプション] Web ページ [85](#)

コントラスト [33](#)

電話回線ラベル [80](#)

電話機サービス [83](#)

電話機サービス名 [83](#)

ブラウザのパスワード [84](#)

呼出音 [33](#)

変更 (続く)

ロケール

電話機のディスプレイ [85](#)[ユーザ オプション] Web ページ [85](#)

編集

PAB エントリ [86](#)電話履歴の電話番号 [31](#)パーソナルディレクトリの連絡先 [42](#)ファストダイヤル [89](#)

ほ

ボイスメール、参照先 [メッセージ](#)ボイスメールのカスタマイズ [45](#)ボイスメールの個人設定 [45](#)ボイスメールへ、参照先 [転送](#)ボイス メッセージ、参照先 [メッセージ](#)ボイス メッセージの確認 [45](#)ボイス メッセージの聞き取り [46](#)保証 [115](#)

ボタン

Cisco Unified IP Phone 6921 [3, 4, 5](#)アプリケーション [5](#)音量 [5](#)会議 [4](#)回線 [4](#)選択 [4](#)ソフトキー [3](#)転送 [3](#)ナビゲーションバー [4](#)ヘッドセット [4](#)保留 [4](#)ミュート [5](#)メッセージ [5](#)連絡先 [5](#)Cisco Unified IP Phone 6941 [5, 11, 12, 13](#)アプリケーション [13](#)音量 [13](#)会議 [12](#)スピーカフォン [5, 13](#)選択 [13](#)ソフトキー [12](#)転送 [12](#)ナビゲーションバー [13](#)プログラマブル機能 [11](#)ヘッドセット [13](#)保留 [12](#)

ボタン (続く)

Cisco Unified IP Phone 6941 (続く)

ミュート [13](#)メッセージ [13](#)連絡先 [13](#)Cisco Unified IP Phone 6961 [20, 21, 22](#)アプリケーション [22](#)音量 [22](#)会議 [21](#)スピーカフォン [22](#)選択 [21](#)ソフトキー [20](#)転送 [21](#)ナビゲーションバー [21](#)プログラマブル機能 [21](#)ヘッドセット [22](#)保留 [21](#)ミュート [22](#)メッセージ [22](#)連絡先 [22](#)機能表 [48](#)

保留

新しいコールによって [61](#)共有回線 [61](#)コール間の切り替え [61](#)説明 [60](#)

ボタン

Cisco Unified IP Phone 6921 [4](#)Cisco Unified IP Phone 6941 [12](#)Cisco Unified IP Phone 6961 [21](#)保留復帰 [61](#)説明 [61](#)通知 [61](#)通知への応答 [61](#)

ま

マニュアル

関連 [114](#)

み

ミーティング

会議

参加 [65](#)ホスト [64](#)

ミーティング (続く)

説明 64

ミュート

オンおよびオフ 66

説明 66

ボタン

Cisco Unified IP Phone 6921 5

Cisco Unified IP Phone 6941 13

Cisco Unified IP Phone 6961 22

め

迷惑呼 64

コールのトレース 64

説明 64

迷惑呼の発信者 ID、参照先 迷惑呼

メッセージ 5, 13, 22, 45, 46

確認 45

聞き取り 46

ボイスメールの個人設定 45

ボタン

Cisco Unified IP Phone 6921 5

Cisco Unified IP Phone 6941 13

Cisco Unified IP Phone 6961 22

メッセージ インジケータ 45, 79

オーディオ、変更 79

ボイス、変更 79

も

モデル情報 34

モバイル コネクト 65, 66, 90, 92

アクセス リストの作成 92

オンおよびオフ 65

切り替え

携帯電話からデスクへ 66

デスクから携帯電話へ 66

説明 65

リモート接続先の追加 90

モバイル コネクト用アクセス リスト 92

ゆ

有効化

EM 59

プライバシー 67

ユーザ オプション 77, 78, 81, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 92, 93

PAB 86, 87

エントリの検索 86

エントリの削除 87

エントリの追加 86

エントリの編集 86

機能ボタンへの割り当て 87

検索

PAB 86

ディレクトリ 85

デバイス

回線の設定 78

選択 77

短縮ダイヤル 81

電話機サービス 81

ファストダイヤル 87, 88, 89, 90

PAB エントリの削除 90

機能ボタンへの割り当て 88

検索 89

コードの PAB エントリへの割り当て 88

コードの割り当て 89

編集 89

プラグイン 92, 93

モビリティ 90, 92

アクセス リストの作成 92

リモート接続先の追加 90

ユーザ設定 84, 85

PIN の変更 84

電話機のディスプレイの言語の変更 85

ブラウザのパスワードの変更 84

[ユーザ オプション] Web ページの言語の変更 85

ユーザ設定、参照先 ユーザ オプション

よ

よくある質問、参照先 FAQ

呼出音 33

呼出音設定、変更 80

ら

ライセンス情報 114

り

リダイヤル

説明 [68](#)番号 [68](#)リモート接続先、参照先 [ユーザ オプション](#)履歴、参照先 [電話履歴](#)

れ

連絡先 [5, 13, 22, 37, 38, 39, 40, 41, 42](#)社内ディレクトリ [37, 38](#)コール中の連絡先の検索 [38](#)コール中の連絡先へのダイヤル [38](#)連絡先の検索 [38](#)連絡先へのダイヤル [38](#)パーソナルディレクトリ [39, 40, 41, 42](#)ファストダイヤルコード [42](#)連絡先の検索 [40](#)連絡先の削除 [41](#)連絡先の追加 [40](#)連絡先の編集 [42](#)連絡先へのダイヤル [41](#)ログインおよびログアウト [40](#)

ボタン

Cisco Unified IP Phone 6921 [5](#)Cisco Unified IP Phone 6941 [13](#)

連絡先 (続く)

ボタン (続く)

Cisco Unified IP Phone 6961 [22](#)

ろ

ログインおよびログアウト [40, 62, 71, 73](#)関連項目 [ログインおよびログアウト](#)[WebDialer](#) [71, 73](#)パーソナルディレクトリ [40](#)ハントグループ [62](#)関連項目 [ログインおよびログアウト](#)

ロケール

電話機のディスプレイの変更 [85](#)[\[ユーザ オプション\] Web ページの変更](#) [85](#)

わ

割り当て

PAB を機能ボタンへ [87](#)パーソナルディレクトリのファストダイヤルコード [42](#)ファストダイヤルコード [89](#)ファストダイヤルコードを PAB エントリへ [88](#)ファストダイヤルボタン [88](#)